

令和5年度（令和5年4月入学）・令和4年度（令和4年秋入学）

京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科

博士前期課程（修士課程）

社会人特別入試・外国人留学生特別入試学生募集要項

## 目次

社会人特別入試（第Ⅰ期・第Ⅱ期・秋入学）	1
外国人留学生特別入試（令和5年4月入学・令和4年秋入学）	18
Master's Program Admission Requirements for International Students (April Admissions for the 2023 Academic Year / Fall Admissions for the 2022 Academic Year)	

学 域	専 攻	社会人特別入試			外国人留学生特別入試	
		4月入学		秋入学	4月入学	秋入学
		第Ⅰ期	第Ⅱ期			
応用生物 学域	応用生物学専攻	—	若干名	若干名	若干名	若干名
物質・材料 科学域	材料創製化学専攻	—	若干名	若干名	若干名	若干名
	材料制御化学専攻	—	若干名	若干名	若干名	若干名
	物質合成化学専攻	—	若干名	若干名	若干名	若干名
	機能物質化学専攻	—	若干名	若干名	若干名	若干名
設計工学域	電子システム工学専攻	—	若干名	若干名	若干名	若干名
	情報工学専攻	—	若干名	若干名	若干名	若干名
	機械物理学専攻	—	若干名	若干名	若干名	若干名
	機械設計学専攻	—	若干名	若干名	若干名	若干名
デザイン 科学域	デザイン学専攻	—	若干名	若干名	若干名	若干名
	建築学専攻	—	若干名	若干名	若干名	若干名
繊維学域	先端ファイブプロ科学専攻	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名
	バイオバースマテリアル学専攻 干名	—	若干名	若干名	若干名	若干名
出 願 期 間		第Ⅰ期・秋入学： 令和4年6月23日～6月30日 第Ⅱ期：令和5年1月5日～1月12日			4月入学： 令和5年1月5日～1月12日 秋入学： 令和4年6月23日～6月30日	
学 力 検 査 日		第Ⅰ期・秋入学：令和4年8月22日 第Ⅱ期：令和5年2月10日			4月入学：令和5年2月10日 秋入学：令和4年8月22日・23日	
合 格 発 表		第Ⅰ期・秋入学：令和4年9月7日 第Ⅱ期：令和5年2月22日			4月入学：令和5年2月22日 秋入学：令和4年9月7日	
入 学 手 続 期 間		第Ⅰ期：令和4年11月17日～11月24日 第Ⅱ期：令和5年3月22日～3月27日 秋入学：令和4年9月9日～9月15日			4月入学： 令和5年3月22日～3月27日 秋入学： 令和4年9月9日～9月15日	



令和5年度（令和5年4月入学）・令和4年度（令和4年秋入学）  
 京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科 博士前期課程（修士課程）  
 社会人特別入試学生募集要項

近年の科学技術の急速な進展に伴う社会的要請に応えるため、各種の研究機関、教育機関、企業等において職務経歴を有する社会人に対して、高度の研究能力の涵養や新しい学問分野についての知識、技術の修得の機会を提供することは、大学と社会の交流を深める上で極めて有意義であるとともに、大学にとっても教育研究機能の活性化を図る機縁となります。

本研究科では、このような趣旨から、社会人に対して、一般の選抜方法とは異なる方法により入学者の選抜を実施しています。

この選抜により入学した人に対しては、大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例による教育（17ページの17参照）を実施することとしています。

### 1 募集人員

学 域	専 攻	募 集 人 員		
		4月入学		秋入学
		第Ⅰ期	第Ⅱ期	
応用生物学域	応用生物学専攻	—	若干名	若干名
物質・材料 科学域	材料創製化学専攻	—	若干名	若干名
	材料制御化学専攻	—	若干名	若干名
	物質合成化学専攻	—	若干名	若干名
	機能物質化学専攻	—	若干名	若干名
設計工学域	電子システム工学専攻	—	若干名	若干名
	情報工学専攻	—	若干名	若干名
	機械物理学専攻	—	若干名	若干名
	機械設計学専攻	—	若干名	若干名
デザイン 科学域	デザイン学専攻	—	若干名	若干名
	建築学専攻	—	若干名	若干名
繊維学域	先端ファイブプロ科学専攻	若干名	若干名	若干名
	バイオベースマテリアル学専攻	—	若干名	若干名

《注》 入試の結果によっては、合格者がありません。

### 2 出願資格

次の各号のいずれかに該当し、かつ、大学卒業等の大学院博士前期課程（修士課程）への入学資格取得後（次の(9)により出願する場合は最終学校卒業後）各種の研究機関、教育機関、企業等において志望する専攻に関する職務経歴を令和5年4月1日（秋入学の場合は令和4年10月1日）現在で1年以上有する人としします。（大学または各種学校等在学中の職務経歴は含みません。）

- (1) 大学を卒業した人
- (2) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第104条第4項の規定により学士の学位を授与された人
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した人
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した人
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した人

- (6) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された人

※(6)の資格で出願する場合は、出願前に出願資格の確認を行いますので、次の期日までに学位授与(見込)証明書、学業成績証明書を入試課大学院入試係(innyushi@kit.ac.jp)まで電子メールにて送付してください。

第Ⅰ期・秋入学：令和4年5月23日(月)、第Ⅱ期：令和4年11月17日(木)

確認終了後、結果を電子メールにてお知らせします。

- (7) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した人
- (8) 文部科学大臣の指定した人(文部省告示第5号)
- (9) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した人と同等以上の学力があると認められた人で、令和5年3月(秋入学の場合は令和4年9月)までに22歳に達する人《注1、注2》

《注1》(9)の資格で出願する場合は、出願前に出願資格の認定審査を行いますので、『3 出願資格認定審査』に基づき審査の申請手続を行ってください。

《注2》(9)の出願資格については、高等専門学校・短期大学の卒業生、専修学校・各種学校の卒業生、外国人学校の卒業生など大学卒業資格を有していない人を対象とします。

※本特別入試に出願を希望される人は、出願前に必ず希望指導教員と連絡をとり、教育方法の特例の具体的内容、研究内容及び出願資格等について確認してください。

### 3 出願資格認定審査

- (1) 『2 出願資格(9)』の資格で出願を希望される人は、以下に記載の「出願資格認定審査申請期限」までに申請書類の提出が必要となりますので入試課大学院入試係へ問い合わせてください。

入試区分	出願資格認定審査申請期限	出願資格認定審査結果通知
第Ⅰ期・秋入学	令和4年5月30日(月)16時まで	令和4年6月23日(木)まで
第Ⅱ期	令和4年11月24日(木)16時まで	令和5年1月5日(木)まで

《注》今年度を実施する入試において出願資格認定審査を申請し、本研究科での審査の結果、出願資格があると認められた人は、他の入試区分に出願する際、再度の申請は不要です。ただし、次年度以降に実施する入試に出願の際は、当該年度の資格審査が必要となるため、再度申請を行ってください。

- (2) 審査の結果、出願資格を有すると認定された人は、改めて『5 出願手続』に基づき、出願手続を行ってください。

### 4 出願期間(インターネット出願システム入力期間及び出願書類提出期間)

入試区分	インターネット出願システム入力期間及び出願書類提出期間
第Ⅰ期・秋入学	令和4年6月23日(木)から令和4年6月30日(木)まで
第Ⅱ期	令和5年1月5日(木)から令和5年1月12日(木)まで

上記の期間内に本学のインターネット出願システム(<https://www.postanet.jp/info/010050/>)にアクセスし、志願者情報の入力及び検定料支払手続を行い、印刷のうえ出願書類を提出してください。

**※インターネット出願システムへの入力のみでは出願手続は完了しません。必ず期間内に書類を提出してください。**

出願書類提出方法

<p>入試課へ持参して提出する場合          ≪入試課≫          松ヶ崎キャンパス3号館1階</p>	<p>○土曜日・日曜日・祝日は受付していません。          ○受付時間は9時から12時まで及び13時から16時までです。</p>
<p>郵送で提出する場合          ≪郵送先≫          〒606-8585          京都市左京区松ヶ崎橋上町1番地          京都工芸繊維大学 入試課大学院入試係</p>	<p>○それぞれの出願期間最終日までの消印（日本国内）があるものについて受け付けます。          ○インターネット出願システムにて所定の事項の入力及び検定料支払手続完了後、宛名ラベル（大学送付用）をダウンロードし、市販の角2封筒に貼り付けて必要書類を封入してください。</p>

5 出願手続（インターネット出願）

出題に際しては、本募集要項等を熟読し、登録漏れや誤りのないようにしてください。

受験票は、システム入力及び検定料支払手続終了後、各自でインターネット出願システムから印刷し、試験当日に持参してください。

出願書類の右上に、入学願書印刷時に付番される「受験番号」を記載してから提出してください（ただし「TOEIC個人用公式認定証（原本）」、発行時に厳封された出願書類は除きます）。

なお、出願に当たっては、希望する研究内容などの不一致を防ぐため、希望指導教員にあらかじめ連絡・確認しておいてください。

[出願書類]

(1) 入学願書	インターネット出願システム ( <a href="https://www.postanet.jp/info/010050/">https://www.postanet.jp/info/010050/</a> ) にて所定の事項を入力し、出願者の写真をインターネット出願システムにアップロードしてください。その後、検定料の支払手続（『6 検定料の支払』参照）を行い、入学願書を印刷、提出してください。
(2) 学業成績証明書	出身大学の学長または学部長が作成したものを提出してください。《注1》
(3) 卒業証明書	出身大学の学長または学部長が作成したものを提出してください。《注2》
(4) 職務経歴書	本学のホームページ ( <a href="https://ac.web.kit.ac.jp/02/nyushi/daigakuin_yoko.html">https://ac.web.kit.ac.jp/02/nyushi/daigakuin_yoko.html</a> ) より様式をダウンロードし、記入のうえ提出してください。職務上の業績を証明する資料（論文、作品、図面等）を添付してもかまいません。
(5) 研究計画書	本学のホームページより様式をダウンロードし希望指導教員と相談のうえ、教員の確認印をもらって提出してください。確認印のないものは出願を認めません。デザイン学専攻に出願する人は、デザイン学専攻専用の様式で提出してください。
(6) 受験承諾書	研究機関、教育機関、企業等に在職のまま入学しようとする人は、勤務先の所属長が作成したものを提出してください。様式は本学のホームページよりダウンロードできます。
(7) TOEIC個人用公式認定証（原本） ※該当の専攻のみ	外国語の筆記試験に代えてTOEICを課している専攻に出願する人は、TOEIC Listening & Reading 公式認定証(Official Score Certificate)（原本）を提出してください（コピー不可）。原本は、受付後直ちに返却します（郵送で出願された場合は(8)の返信用封筒にて返却します）。 なお、TOEICスコアの有効期限は、TOEIC受験日（公式認定証に明記されている年月日）が、出願期間の最終日から遡って、2年以内とします。 <u>また、カレッジTOEIC等の団体特別受験制度（IPテスト）では、スコアの公式認定証が発行されないのので、同テストによるスコアは認めません。</u>
(8) 返信用封筒 （郵送での出願者のみ）	TOEIC個人用公式認定証返却用 長3サイズの封筒に住所、郵便番号、氏名を明記し、84円分の郵便切手を貼って提出してください。

(次ページへ続く)



## 8 出願についての注意事項

- (1) 次の場合には、出願書類を受理しません。
  - ① インターネット出願システム上で出願処理が完了していない場合
  - ② 出願書類がそろっていない場合
  - ③ 出願書類の記載が不完全な場合
  - ④ 検定料が支払われていない場合
- (2) 出願書類の受理後は、記載事項の変更は認めません。
- (3) 出願書類はTOEIC Listening & Reading 公式認定証（原本）を除き、原則返還しません。  
また、支払済の検定料は、次の場合を除き、原則返還しません。
  - ① 検定料を支払ったが出願しなかった（出願書類を提出しなかったまたは出願書類が受理されなかった）場合
  - ② 検定料を誤って二重に支払った場合※ 検定料返還請求の方法については、入試課大学院入試係へお問い合わせください。
- (4) 出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学後でも入学の許可を取り消すことがあります。

## 9 選抜方法

入学者の選抜は、学力検査及び書類選考により行います。



## 10 アドミッションポリシー

各専攻では、専攻に係る専門的な教育研究をすることにより、以下に掲げる人材を育成します。また、この専門的な教育を修めて研究を遂行するために、以下に掲げる能力や適性を持つ人を求めます。

### 応用生物学専攻

#### 人材育成の目標

バイオテクノロジーに関する高度な知識、技術、展開能力を有し、社会の諸問題を解決することができるグローバルな研究者・技術者を育成する。

#### 選抜の方針・ポリシー

専門科目・分野に関する口述試験、英語力の評価により、求める能力・適性を判定する。

#### 求める能力と適性

ライフサイエンスに関連した専門的な知識、実験科学的な理解力、英文の読解や表現に優れた能力

### 材料創製化学専攻

#### 人材育成の目標

本専攻では、高分子物性工学、無機材料科学、材料物理化学、並びに光工学に関する十分な基礎知識をもち、高分子やセラミックスなどをベースにして高次構造化・機能化のアプローチにより実効性ある革新材料開発を実現する応用能力を身につけた人材を育成します。加えて、材料開発に携わる研究技術者として人間的に広く深い素養と自覚、豊かな国際性を併せもつ人材を育成します。

本専攻の修了生は、電気製品、化学（プラスチック、有機、無機他）、繊維製品、ゴム製品、ガラス・セラミックス、その他製品等の企業において研究・開発技術者として活躍すると期待されます。

#### 選抜の方針・ポリシー

専門科目・分野に関する口述試験、英語力の評価により、求める能力・適性を判定する。

#### 求める能力と適性

高分子材料やセラミック材料の専門領域に対して強い関心を示し、それらの材料を科学する心の知性と実現する意欲、ならびに特に、広い視野から問題発掘・解決できる能力

### 材料制御化学専攻

#### 人材育成の目標

高い機能を持つ材料を扱う研究技術者は、高分子、無機材料などの個々の特性についての知識に止まらず、機能の源となる基礎的な性質について深く理解していることが求められます。本専攻では、それらの知識と理解に基づき、社会に役立つ材料とは何かを考え、将来への見通しを持つ人材、さらに自らの技術力をグローバルに展開する国際性をもつ人材を育成します。

#### 選抜の方針・ポリシー

専門科目・分野に関する口述試験、英語力の評価により、求める能力・適性を判定する。

#### 求める能力と適性

高分子物質、無機物質などの集合体による、材料のブレークスルーを実現することを志向しつつ、真に豊かな社会の発展を目指し、特に、広い視野から問題発掘・解決できる能力

### 物質合成化学専攻

#### 人材育成の目標

本専攻では、有機、無機、高分子化合物、各種ハイブリッドの合成化学、精密分子設計、界面材料化学、ならびにヘテロ元素化学に関する十分な基礎知識をもち、精密合成を基盤にボトムアップのアプローチで医薬品、農薬、発光素子、液晶分子、界面活性物質、繊維改質剤、光反応性触媒など革新的な物質や材料の創成を実現する応用能力を身につけた人材を育成します。加えて、材料開発に携わる研究技術者として、人間的に広く深い素養と自覚、ならびに豊かな国際性を併せもつ人材を育成します。本専攻の修了生は、化学（有機、プラスチック、油脂他）、医薬品、繊維製品分野等の企業において、化学製品や機能材料の創製に軸足を置いた研究・開発技術者として活躍すると期待されます。

#### 選抜の方針・ポリシー

専門科目・分野に関する口述試験、英語力の評価により、求める能力・適性を判定する。

#### 求める能力と適性

化学を基礎とした材料開発に強い関心と情熱を有し、環境との調和を考えながら、原子・分子レベルでの物質創成



を通して研究能力の向上、並びに専門知識の深化を目指す能力

## 機能物質化学専攻

### 人材育成の目標

本専攻では、生体関連化学、物理・分析化学、分子構造化学、高分子化学及び化学工学に関して十分な基礎知識をもち、生物の機能や構造を再現・応用することによって、新しい物質や材料を創成するとともに、化学の視点を軸として分子レベルで物質の機能を捉え、構造を探り、その活用を促進できる応用能力を身につけた人材を育成します。加えて、他専攻の講義履修や研究交流を通じながら、広い視野で材料開発に携わる研究技術者として人間的に広く深い素養と自覚並びに豊かな国際性を併せもつ人材を育成します。

### 選抜の方針・ポリシー

専門科目・分野に関する口述試験、英語力の評価により、求める能力・適性を判定する。

### 求める能力と適性

生命科学と化学の学際領域を担う機能性物質の構造と機能に関する強い興味と関心、研究遂行する上で不可欠な基礎知識、英語の理解力、特に、機能分子の創成と応用研究に関する問題解決能力

## 電子システム工学専攻

### 人材育成の目標

数学、物理学、電気電子系専門科目の十分な基礎知識を有し、再生可能エネルギー、ナノテクノロジー、新材料、エレクトロニクス、情報通信、画像処理に関する基盤技術を修得するとともに、高度な専門知識に基づいて、物理学、化学、医学との境界領域分野の開拓を先導できる能力、新しい技術を社会実装できる能力を身につけた人材の育成を目指しています。

### 選抜の方針・ポリシー

専門科目・分野に関する筆記試験や口述試験、英語力の評価により、求める能力・適性を判定する。

### 求める能力と適性

修学及び研究活動に必要な英語力、基礎学力、希望研究分野に関連した専門基礎知識、研究意欲

## 情報工学専攻

### 人材育成の目標

あらゆる産業基盤を支えているICTについての高度な知識と技能を身に付け、情報機器製造業をはじめとする様々な製造業において、またICTを活用したサービス事業を展開する企業において、さらにはICTに関連した様々な企業および教育・研究機関において、リーダーシップを持ちつつ自発的かつ国際的に研究・開発を行い、人間中心型の豊かな情報社会の構築を先導する研究技術者の育成です。

### 選抜の方針・ポリシー

専門科目・分野に関する口述試験、英語力の評価により、求める能力・適性を判定する。

### 求める能力と適性

情報工学に関する基本的な知識や数理的な解析能力、及び研究活動に必要な英語能力を有し、高度情報技術者として研究・開発を率先して担っていく意欲のある人

## 機械物理学専攻

### 人材育成の目標

機械物理学専攻は、機械工学の根幹をなす力学分野を中心に、様々な物理現象を理解するための理論的、実験的および数値的解析手法を身に付け、実際の工学的問題に応用する能力を有し、国際的に活躍できる「探究的価値創造力」を持つ機械技術者・研究者を育成することを目的としています。

### 選抜の方針・ポリシー

専門科目・分野に関する筆記試験や口述試験、英語力の評価により、求める能力・適性を判定する。

### 求める能力と適性

機械工学の基礎学力を有し、自然やものづくりに対する好奇心と深い洞察力を持ち、さらに自ら問題を設定して、その解決に向けて独創的・先端的・挑戦的に取り組める能力

## 機械設計学専攻

### 人材育成の目標

機械設計学専攻は、機械工学のみならず幅広い先端のテクノロジーに精通し、これらの工学的知識を横断的に駆使することによりイノベーションをデザインする能力を有し、国際的に活躍できる「実践的価値創造力」を持つ機械技術者・研究者を育成することを目的としています。

### 選抜の方針・ポリシー

専門科目・分野に関する筆記試験や口述試験、英語力の評価により、求める能力・適性を判定する。

### 求める能力と適性

機械工学の基礎学力を有し、自然やものづくりに対する好奇心と深い洞察力を持ち、さらに自ら問題を設定して、その解決に向けて独創的・先端的・挑戦的に取り組める能力

## デザイン学専攻

### 人材育成の目標

本専攻では、モノづくりに関わる専門的な社会実装能力を身につけ、異分野の専門家との混合チームの中でデザイナーやエンジニア、またマネージャーとして力を発揮でき、アイデアを実現するためのプレゼンテーション能力と英語でのコミュニケーション能力を身につけ、また、キュレーション分野においては、美術、デザイン、建築などの作品や作者についての基本的な知識を習得し、それを踏まえて作品の分析と文献の解説による理論構築をするとともに、対象の「価値」を「キュレーション」（「企画」「編集」「ディレクション」「展示」「発信」）という形式でも示しうる能力を身につけた人材の育成を目指しています。

### 選抜の方針・ポリシー

研究計画や専門知識に関する口述試験、英語力の評価により、求める能力・適性を判定する。

### 求める能力と適性

デザイン、ビジネス、テクノロジー、キュレーションに関する基本的な知識と制作スキル、柔軟で独創的な発想力、さらに深い専門知識と創造的な方法論を研究・実践していく意欲を持つこと。

表現・造形の基本形をマスターしたデザイン系学科、建築系学科の大学の卒業生や、経営系学科、生活科学系学科、エンジニアリング系学科の卒業生、及びそれらと同等の学力を有するモノ・空間・サービス等のデザインやキュレーションに関心のある他学科の卒業生を選抜の対象とする。

### ※修了方法について

本専攻には、修了審査に論文を提出する論文型と、デザインの実制作の成果を提出する特定課題型の2種類の修了方法があります。出願時にどちらかを選択する必要があります。

## 建築学専攻

### 人材育成の目標

本専攻では、国際的な競争力を有した都市・建築の計画立案、設計、総合的マネジメントの能力を有し、歴史や環境、地域に根ざした都市・建築の保存・修復・再生に関する構想力と、総合的マネジメント能力を身に付け、さらに、デザインやまちづくりの合意形成や研究内容の社会化を意識した、高い説明能力を有している人材の育成を目指しています。

### 選抜の方針・ポリシー

持参作品もしくは研究計画等についての口述試験、英語力の評価により、求める能力・適性を判定する。

### 求める能力と適性

建築学に関する基礎的な学力と建築設計能力、柔軟で独創的な発想力、さらに深い専門知識と創造的な方法論を研究・実践していく意欲を持つこと。

特に京都という地において都市・建築を学ぶことに意識的な人材、歴史と場所性に寄り添う思考態度を持つ人材、地球規模で都市・建築とそのデザインを考える発想力と創造意欲を有する人材を求める。

## 先端ファイブロ科学専攻

### 人材育成の目標

テキスタイルサイエンス・エンジニアリングを学ぶことにより、人と環境に優しいものづくりができ、かつ未知のものに向かって自らの考えでアプローチができる応用力を身につけた人材を育成します。

### 選抜の方針・ポリシー

知識の習得意欲ならびに課題解決に対しての積極性を求める。英語による筆記試験、これまで学んできた専門知識

に関する口述試験の評価により、能力・適性を判定する。

#### 求める能力と適性

自然科学に関する基礎学力を備え、自身の研究に閉じこもることなく広く知識を得ようとする深い感性と、問題を発見・解決し、それを論理的に説明する能力があり、研究成果が社会に還元できるよう常に自ら思考し実行する情熱と忍耐力

### バイオベースマテリアル学専攻

#### 人材育成の目標

バイオベースマテリアル学専攻は、人類が直面する地球環境問題の解決と理想的な未来社会を実現しようとする気概を持ち、高度に分化・専門化した現代の科学技術の基礎を横断的かつ国際的に理解し、その課題解決のために協働できる人材を育成します。その目的達成のためには、植物バイオマスからの原料開拓とそれをを用いた高分子材料の合成、高分子材料の物性や微細構造の解析および成形加工などバイオベースマテリアルに関する研究開発が不可欠であり、これらの分野を理解できる人材を育成します。

#### 選抜の方針・ポリシー

知識の習得とバイオベースマテリアルの研究に意欲的に取り組み、その実現を目指す人を求める。口述試験及び英語力の評価により、求める能力・適性を判定する。

#### 求める能力と適性

環境問題への関心と解決意欲を備え、科学に対する興味が高く、研究成果の社会に対する貢献心を持っていること。

11 学力検査日時、検査方法及び場所等

(1) 学力検査日時及び科目

① 第Ⅰ期

専攻	学力検査日	区分	学力検査科目・時間	配点	内 容
先端ファイブ 科学専攻	令和4年 8月22日(月)	筆記 試験	外国語 9:30~12:00 (150分)	100	英語
		口述 試験	13:00~	200	研究分野に関連した科目についての専門 的学力、研究計画書及び職務経歴書等 について実施する。また、外国人につい ては、日本語による試問を含む。

② 第Ⅱ期

専攻	学力検査日	区分	学力検査科目・時間	配点	内 容
応用生物学専攻	令和5年 2月10日(金)	筆記 試験	外国語 (筆記試験は実施しない)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出された TOEIC個人用公式認定証のスコアに より、評価する。
		口述 試験	13:00~	100	応用生物学について実施する。また、外 国人については、日本語による試問を含 む。
材料創製化学専攻	令和5年 2月10日(金)	筆記 試験	外国語 (筆記試験は実施しない)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出された TOEIC個人用公式認定証のスコアに より、評価する。
		口述 試験	9:30~	200	研究する分野に関連した科目についての 基礎及び専門的学力について問う。
材料制御化学専攻	令和5年 2月10日(金)	筆記 試験	外国語 (筆記試験は実施しない)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出された TOEIC個人用公式認定証のスコアに より、評価する。
		口述 試験	9:30~	200	研究する分野に関連した科目についての 基礎及び専門的学力について問う。
物質合成化学専攻	令和5年 2月10日(金)	筆記 試験	外国語 (筆記試験は実施しない)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出された TOEIC個人用公式認定証のスコアに より、評価する。
		口述 試験	9:30~	200	研究する分野に関連した科目についての 基礎及び専門的学力について問う。
機能物質化学専攻	令和5年 2月10日(金)	筆記 試験	外国語 (筆記試験は実施しない)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出された TOEIC個人用公式認定証のスコアに より、評価する。
		口述 試験	9:30~	200	研究する分野に関連した科目についての 基礎及び専門的学力について問う。
電子システム工学 専攻	令和5年 2月10日(金)	筆記 試験	外国語 (筆記試験は実施しない)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出された TOEIC個人用公式認定証のスコアに より、評価する。
		筆記 試験	専門科目 10:00~10:45 (45分)	100	電磁気学、電気回路、電子回路の3題か ら1題を選択
		口述 試験	13:30~	200	研究分野に関連した科目についての専門 的学力、研究計画書及び職務経歴書等 について実施する。また、外国人につい ては、日本語による試問を含む。

(次ページへ続く)

第Ⅱ期

専攻	学力検査日	区分	学力検査科目・時間	配点	内 容
情報工学専攻	令和5年 2月10日(金)		外国語 (筆記試験は実施しない)	200	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		口述 試験	13:30～	300	研究分野に関連した科目についての専門的学力、研究計画書及び職務経歴書等について実施する。また、外国人については、日本語による試問を含む。
機械物理学専攻	令和5年 2月10日(金)		外国語 (筆記試験は実施しない)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		口述 試験	13:30～	300	機械工学の基礎事項に関する知識を問う。
機械設計学専攻	令和5年 2月10日(金)		外国語 (筆記試験は実施しない)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		口述 試験	13:30～	300	機械工学の基礎事項に関する知識を問う。
デザイン学専攻	令和5年 2月10日(金)		外国語 (筆記試験は実施しない)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		口述 試験	13:00～	200	研究計画書の内容、関連する専門知識、持参した資料について実施する。
建築学専攻	令和5年 2月10日(金)		外国語 (筆記試験は実施しない)	200	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		口述 試験	13:00～	300	持参作品もしくは研究計画について実施する。また、外国人については、日本語による試問を含む。
先端ファイブ 科学専攻	令和5年 2月10日(金)	筆記 試験	外国語 9:30～12:00(150分)	100	英語
		口述 試験	13:00～	200	研究分野に関連した科目についての専門的学力、研究計画書及び職務経歴書等について実施する。また、外国人については、日本語による試問を含む。
バイオベース マテリアル学専攻	令和5年 2月10日(金)		外国語 (筆記試験は実施しない)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		口述 試験	11:00～	200	志望分野及び関連分野の専門的学力(有機化学、物理化学、生化学、高分子化学、高分子物性、物理のうち一つ)の口述試問等を含む。

③ 秋入学

専攻	学力検査日	区分	学力検査科目・時間	配点	内 容
応用生物学専攻	令和4年 8月22日(月)		外国語 (筆記試験は実施しない)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		口述 試験	13:00~	100	応用生物学について実施する。
材料創製化学専攻	令和4年 8月22日(月)		外国語 (筆記試験は実施しない)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		口述 試験	10:00~	200	研究する分野に関連した科目についての基礎及び専門的学力について問う。
材料制御化学専攻	令和4年 8月22日(月)		外国語 (筆記試験は実施しない)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		口述 試験	10:00~	200	研究する分野に関連した科目についての基礎及び専門的学力について問う。
物質合成化学専攻	令和4年 8月22日(月)		外国語 (筆記試験は実施しない)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		口述 試験	10:00~	200	研究する分野に関連した科目についての基礎及び専門的学力について問う。
機能物質化学専攻	令和4年 8月22日(月)		外国語 (筆記試験は実施しない)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		口述 試験	10:00~	200	研究する分野に関連した科目についての基礎及び専門的学力について問う。
電子システム工学 専攻	令和4年 8月22日(月)		外国語 (筆記試験は実施しない)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		筆記 試験	専門科目 10:00~10:45(45分)	100	電磁気学、電気回路、電子回路の3題から1題を選択
		口述 試験	13:30~	200	研究分野に関連した科目についての専門的学力、研究計画書及び職務経歴書等について実施する。また、外国人については、日本語による試問を含む。
情報工学専攻	令和4年 8月22日(月)		外国語 (筆記試験は実施しない)	200	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		口述 試験	10:30~	300	研究分野に関連した科目についての専門的学力、研究計画書及び職務経歴書等について実施する。また、外国人については、日本語による試問を含む。
機械物理学専攻	令和4年 8月22日(月)		外国語 (筆記試験は実施しない)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		筆記 試験	専門科目 13:00~14:30(90分)	200	材料力学、機械力学、熱力学、流体力学の分野から各2題(計8題)のうちから2題を選択

(次ページへ続く)



秋入学

専攻	学力検査日	区分	学力検査科目・時間	配点	内 容
機械設計学専攻	令和4年 8月22日(月)		外国語 (筆記試験は実施しない)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		筆記試験	専門科目 13:00~14:30(90分)	200	材料力学、機械力学、熱力学、流体力学の分野から各2題(計8題)のうちから2題を選択
デザイン学専攻	令和4年 8月22日(月)		外国語 (筆記試験は実施しない)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		口述試験	13:00~	200	研究計画書の内容、関連する専門知識、持参した資料について実施する。
建築学専攻	令和4年 8月22日(月)		外国語 (筆記試験は実施しない)	200	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		口述試験	13:00~	300	研究計画書または、持参作品について実施する。また、外国人については、日本語による試問を含む。
先端ファイブ 科学専攻	令和4年 8月22日(月)	筆記試験	外国語 9:30~12:00(150分)	100	英語
		口述試験	13:00~	200	研究分野に関連した科目についての専門的学力、研究計画書及び職務経歴書等について実施する。また、外国人については、日本語による試問を含む。
バイオベース マテリアル学専攻	令和4年 8月22日(月)		外国語 (筆記試験は実施しない)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		口述試験	11:00~	200	志望分野及び関連分野の専門的学力(有機化学、物理化学、生化学、高分子化学、高分子物性、物理のうち一つ)の口述試問等を含む。

(2) 試験場 京都工芸繊維大学 松ヶ崎キャンパス (京都市左京区松ヶ崎橋上町1番地)

試験室等は、次の日までに本学のホームページ ([https://ac.web.kit.ac.jp/02/gs\\_news.php](https://ac.web.kit.ac.jp/02/gs_news.php))  
及び入試課前掲示板に掲示します。

第Ⅰ期・秋入学：令和4年8月19日(金)

第Ⅱ期：令和5年2月9日(木)

(3) 受験についての注意

共通の注意事項

注：現状においては、新型コロナウイルス感染症の今後の影響の見通しが立たないことから、新型コロナウイルス感染症防止に関連する注意事項については、試験実施日の2週間前を目途に本学ホームページ ([https://ac.web.kit.ac.jp/02/gs\\_news.php](https://ac.web.kit.ac.jp/02/gs_news.php)) に通知します。

1) 持参物

試験には、次の物を持参してください。

- ① インターネット出願システムより印刷した受験票
- ② 筆記用具 (HB程度の黒鉛筆またはシャープペンシル、プラスチック消しゴム)
- ③ 時計 (携帯電話や計時以外の機能が付いた機器を、時計として使用することはできません。)



## ④予備も含めて感染防止用のマスク（無地のもの）（マウスシールドは使用できません）

※電子システム工学専攻、情報工学専攻、デザイン学専攻、建築学専攻および先端ファイブ科学専攻については、専攻ごとの注意事項で指定されたものを準備しておいてください。

## 2) 受験上の留意事項

- ① 受験生は、試験の当日、インターネット出願システムより印刷した受験票を持参し、試験監督者等の指示に従って提示してください。持参していない場合は、受験できないことがあります。万一、紛失した場合または忘れた場合は、入試課へ申し出てください。
- ② 試験当日は試験開始 20 分前までに試験場に到着し、各科目の試験開始 15 分前までに所定の試験室または口述試験控室に入り、自分の受験番号の席に着いてください。
- ③ 試験開始後、20 分以上遅刻して試験室に到着した場合は、受験することができません。
- ④ 指定の科目等を 1 科目でも受験しなかった場合は、全試験を放棄したものとみなされ、以後は受験することができません。
- ⑤ 試験中、不正行為をした場合及び不正行為とみなされる行動があった場合、または監督者の指示に従わない場合は、直ちに受験の停止を命じます。
- ⑥ 身体の都合等により定められた試験室において受験することが困難と思われる場合は、事前に入試課に申し出てください。
- ⑦ 試験時間中に気分が悪くなるなど、受験することが困難と思われた場合は、監督者に申し出て、その指示に従ってください。この場合、医務室で一時休養の後、試験室に復帰することは可能ですが、試験時間の延長は認めません。また、試験室への復帰が、次の試験時間の遅刻限度 20 分を超過した場合は、当該学力検査科目の受験も認めません。
- ⑧ 試験中、携帯電話・その他の電子機器・腕時計のアラーム音などが発生しても、試験の再実施や時間の延長などの対応はいたしません。

## 3) 禁止事項

- ① 試験中は、受験票並びに試験監督者の指示するもの以外は机の上に置いてはいけません。
- ② 計時以外の機能が付いた時計及び計算機能等がついた文房具の持込を禁止します。
- ③ 携帯電話や音の出る機器は、試験室に入る前にアラームの設定を解除し、電源を切ってカバン等の中にして置いてください。携帯電話を時計として使用できません。また、時計もアラームの設定を解除し、鳴らない状態にしておいてください。
- ④ 文字や数式等がプリントされている服等は着用しないでください。着用している場合は、裏返して着ていただくことがあります。座布団と膝掛けは、文字や数式等がプリントされていないものに限り使用を認めます。
- ⑤ 試験室内では入室から退室まで（休憩時間を除く）、飲食（ガム・あめなどを含む）は禁止です。
- ⑥ 試験開始以降、試験室を退室するまで（休憩時間を除く）、試験当日に各専攻から貸与される物品がある場合を除いて、携帯電話やその他の電子機器（オーディオプレーヤー・パソコン・ゲーム機・電子辞書・電子手帳など）は使用できません。
- ⑦ 各建物のエレベーターの使用を禁止します。

## 4) その他

- ① 試験当日に、交通機関の遅延等により試験開始時刻の変更等がある場合は、本学ホームページでお知らせします。  
<https://www.kit.ac.jp/>
- ② その他、受験について不明な点があれば、入試課に問い合わせてください。

## 各入学試験における専攻ごとの注意事項

## 第Ⅰ期

## ◆ 先端ファイブ科学専攻

口述試験：職務経歴、業績等の説明資料の持ち込みを許可します。

## 第Ⅱ期

## ◆ 電子システム工学専攻

口述試験：職務経歴、業績等の説明資料の持ち込みを許可します。

◆ 情報工学専攻

口述試験：職務経歴、業績等の説明資料の持ち込みを許可します。

◆ デザイン学専攻

口述試験の際、A3用紙の大きさを3枚までにまとめた作品集・資料等を持参してください。

◆ 建築学専攻

口述試験：研究計画を説明する場合は、必要と思われる資料、または建築設計作品のうち代表的な2点以上の説明できる図面、写真等を持参してください。ただし、建築模型の持ち込みは認めません。

◆ 先端ファイブプロ科学専攻

口述試験：職務経歴、業績等の説明資料の持ち込みを許可します。

秋入学

◆ 電子システム工学専攻

口述試験：職務経歴、業績等の説明資料の持ち込みを許可します。

◆ 情報工学専攻

口述試験：職務経歴、業績等の説明資料の持ち込みを許可します。

◆ デザイン学専攻

口述試験の際、A3用紙の大きさを3枚までにまとめた作品集・資料等を持参してください。

◆ 建築学専攻

口述試験：研究計画を説明する場合は、必要と思われる資料、または建築設計作品のうち代表的な2点以上の説明できる図面、写真等を持参してください。ただし、建築模型の持ち込みは認めません。

◆ 先端ファイブプロ科学専攻

口述試験：職務経歴、業績等の説明資料の持ち込みを許可します。

## 12 合格発表

次の日時に合格者の受験番号を本学のホームページ ([https://ac.web.kit.ac.jp/02/gs\\_news.php](https://ac.web.kit.ac.jp/02/gs_news.php)) に発表します。  
なお、合格者には、入学願書に記載された受信場所宛に合格通知書を郵便により送付します。

第Ⅰ期・秋入学：令和4年9月7日（水） 17時（予定）

第Ⅱ期：令和5年2月22日（水） 17時（予定）

## 13 入学手続

合格者は、次の日時に入学手続を行ってください。なお、入学手続書類は、合格通知書に同封します。

第Ⅰ期

入学手続期間 令和4年11月17日(木)から令和4年11月24日(木)(17時必着)まで

第Ⅱ期

入学手続期間 令和5年3月22日(水)から令和5年3月27日(月)(17時必着)まで

秋入学

入学手続期間 令和4年9月9日(金)から令和4年9月15日(木)(17時必着)まで

## 14 入学に要する経費

- (1) 入学料 282,000円
- (2) 授業料 267,900円(半期) 535,800円(年額)
- (3) 学生教育研究災害傷害保険及び付帯賠償責任保険料  
2年間の保険料 2,430円(予定)

- ① 入学料及び授業料の額については、改定される場合があります。
- ② 入学料の納入は、入学手続き時に行います。入学時に入学料及び授業料が改定された場合は、改定後の入学料及び授業料の額が適用されます。なお、在学中に授業料が改定された場合は、改定時から新授業料の額が適用されます。
- ③ 授業料の納入は、年間の授業料について、前期及び後期の二期に区分して行います。納入月は前期は4月、後期は10月で、それぞれの期において納入する額は、年額の二分の一に相当する額です。
- ④ その他、必要に応じて納入する諸経費があります。
- ⑤ 納入方法等の詳細については、合格通知に同封します。
- ⑥ 納入した入学料は、いかなる理由があっても返還しません。
- ⑦ 入学手続き時に入学に要する経費を納入した後で、令和5年3月31日(金)17時(秋入学の場合は令和4年9月22日(木)17時)までに入学を辞退した場合は、申し出により入学料以外を返還します。返還の方法については学務課学務企画係に連絡してください。

## 15 入学料・授業料の免除等制度

入学料・授業料の納入が経済的理由により困難であり、かつ学業優秀と認められる場合、願い出により選考のうえ、入学料・授業料の全額または一部を免除もしくは入学料・授業料の徴収が猶予される制度があります。

令和5年度前期分(秋入学は令和4年度後期分)の授業料免除の申請方法は、外国人留学生(在留資格が「留学」の人、及び本学入学時まで「留学」の在留資格を取得する人)とそれ以外の人とで次のとおり異なります。

詳細は、学生支援・社会連携課経済支援係へ問い合わせてください。

### ■ 令和5年度前期分(秋入学は令和4年度後期分)の授業料免除の申請方法

- (1) 外国人留学生(在留資格が「留学」の人、または本学に入学するまでに「留学」の資格を取得する人)のうち、下記のいずれかに該当する人

#### I. 私費外国人留学生

- II. 出願時には国費外国人留学生であるが、本学入学時に私費外国人留学生となる可能性がある人(国費外国人留学生の奨学金支給期間延長の申請をしている人、またはその申請をする予定のある人も含まれます)

出願書類と一緒に申請を受け付けます。なお、授業料免除の申請が入試の合否判定に関係することは一切ありません。

#### ① 申請期間

入試の出願期間に、「② 申請書類」を出願書類と一緒に提出してください。出願期間後の申請は受け付けません。出願期間の詳細は、2ページの『4 出願期間』を参照してください。

#### ② 申請書類

- ・授業料免除申請書類一式(本学所定様式)

本学ホームページ([https://www.kit.ac.jp/en/prospective\\_student/life\\_fee/](https://www.kit.ac.jp/en/prospective_student/life_fee/))よりダウンロードしてください。

#### ③ 選考結果の通知

入学試験の合格通知書と併せて、免除選考結果通知書を送付します。

- (2) 上記(1)以外の人

入学手続き後に申請を受け付けます(申請受付日は令和5年3月下旬(秋入学は令和4年9月中旬)の予定)。

申請方法は、合格通知書に同封する入学手続き書類で確認してください。

## 16 奨学金制度

### (1) 日本学生支援機構奨学金

学業、人物ともに優秀で経済的理由のため修学が困難と認められる場合は、願い出により選考のうえ、独立行政法人日本学生支援機構より奨学金の貸与を受けることができます（外国人留学生を除く）。奨学金の種類には、第一種（無利子）と第二種（有利子）があります。

<返還免除制度>

日本学生支援機構第一種奨学金の貸与を受けた者であって、貸与期間中に特に優れた業績を挙げた者として日本学生支援機構が認定した人を対象に、その奨学金の全額または一部の返還が免除される制度があります。

### (2) 地方公共団体及び民間育英団体の奨学金

地方公共団体及び民間育英団体による奨学金制度があります。願い出により選考のうえ、奨学金の貸与または給付を受けることができます。

## 17 大学院設置基準（昭和49年文部省令第28号）第14条に定める教育方法の特例による教育

通常、企業等において活躍中の社会人研究者・技術者が博士前期課程で学ぶ場合、2年間完全に勤務を離れ学業に専念することになりますが、このような就学条件を満たすことは一般的にはかなり困難です。そこで、このような社会人学生に対しては、大学院設置基準第14条に「大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間または時期において授業または研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。」ことが規定されていますので、本研究科においてはこの制度を活用し、社会人学生に対してはこの教育方法の特例による教育を実施します。

2023年（令和5年）度4月入学・2022（令和4年）度秋入学  
 京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科  
 博士前期課程（修士課程）外国人留学生特別入試学生募集要項  
 April Admissions for the 2023 Academic Year (Fall Admissions for the 2022 Academic Year)  
 Kyoto Institute of Technology (KIT) Graduate School of Science and Technology  
 Master's Program Admission Requirements for International Students

## 1 募集人員 Number of Students to be Admitted

学域 Academic Field	専攻 Master's programs	募集人員 Number of Students to be Admitted	
		2023年4月入学 April Admissions for 2023	2022年秋入学 Fall Admissions for 2022
応用生物学域 Academic Field of Applied Biology	応用生物学専攻 Master's Program of Applied Biology	若干名 Limited number	若干名 Limited number
物質・材料科学域 Academic Field of Materials Science	材料創製化学専攻 Master's Program of Innovative Materials	若干名 Limited number	若干名 Limited number
	材料制御化学専攻 Master's Program of Material's Properties Control	若干名 Limited number	若干名 Limited number
	物質合成化学専攻 Master's Program of Materials Synthesis	若干名 Limited number	若干名 Limited number
	機能物質化学専攻 Master's Program of Functional Chemistry	若干名 Limited number	若干名 Limited number
設計工学域 Academic Field of Engineering Design	電子システム工学専攻 Master's Program of Electronics	若干名 Limited number	若干名 Limited number
	情報工学専攻 Master's Program of Information Science	若干名 Limited number	若干名 Limited number
	機械物理学専攻 Master's Program of Mechanophysics	若干名 Limited number	若干名 Limited number
	機械設計学専攻 Master's Program of Mechanodesign	若干名 Limited number	若干名 Limited number
デザイン科学域 Academic Field of Design	デザイン学専攻 Master's Program of Design	若干名 Limited number	若干名 Limited number
	建築学専攻 Master's Program of Architecture	若干名 Limited number	若干名 Limited number
繊維学域 Academic Field of Fiber Science and Engineering	先端ファイブプロ科学専攻 Master's Program of Advanced Fibro-Science	若干名 Limited number	若干名 Limited number
	バイオベースマテリアル学専攻 Master's Program of Biobased Materials Science	若干名 Limited number	若干名 Limited number

《注》入試の結果によっては、合格者がいない場合があります。

Note: There may be no successful applicants, depending on the examination results.

## 2 出願資格 Eligibility

日本国籍を有しない人で、修学に必要な程度の日本語の能力を有し、次の各号のいずれかに該当する人

Non-Japanese whose Japanese language proficiency will enable them to cope with Japanese coursework and are described by at least one of the following are eligible to apply.

- (1) 学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 83 条に定める大学を卒業した人及び 2023 年（令和 5 年）3 月（秋入学の場合は 2022 年（令和 4 年）9 月）までに卒業見込みの人

Those who have graduated from university or are expected to graduate by March 2023 (September 2022 for fall admissions) in conformance to Article 83 of the School Education Law (Act No. 26 of 1947)

- (2) 学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 104 条第 4 項の規定により学士の学位を授与された人及び 2023 年（令和 5 年）3 月（秋入学の場合は 2022 年（令和 4 年）9 月）までに授与される見込みの人

Those who have received a bachelor's degree or are expected to receive one by March 2023 (September 2022 for fall admissions) in conformance to Article 104, Section 4 of the School Education Law (Act No. 26 of 1947).

- (3) 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した人及び 2023 年（令和 5 年）3 月（秋入学の場合は 2022 年（令和 4 年）9 月）までに修了見込みの人

Those who have completed the entire 16-year curriculum of the school educational system in overseas schools or those who are expected to complete it by March 2023 (September 2022 for fall admissions).

- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した人及び 2023 年（令和 5 年）3 月（秋入学の場合は 2022 年（令和 4 年）9 月）までに修了見込みの人

Those who have completed class subjects in Japan through distance learning programs conducted by overseas schools, completing the entire 16-year curriculum of the school educational system in the country concerned or who are expected to complete it by March 2023 (September 2022 for fall admissions).

- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した人及び 2023 年（令和 5 年）3 月（秋入学の場合は 2022 年（令和 4 年）9 月）までに修了見込みの人

Those who have completed or are expected to complete by March 2023 (September 2022 for fall admissions) courses at educational institutions abroad (limited to those who have completed the entire 16-year curriculum of the school educational system in the country concerned). Those educational institutions must be ones that are regarded in Japan to have university courses in the educational system of their countries and courses specifically designated by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology (MEXT).

- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が指定するものに限る。）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された人及び 2023 年（令和 5 年）3 月（秋入学の場合は 2022 年（令和 4 年）9 月）までに授与される見込みの人

Those who have completed a course with a duration of study of 3 years or more (including completion of said course through distance learning education offered by overseas schools in Japan or completion of a course at an educational institution designated in the school education system of said foreign country and designated as per preceding paragraph) at an overseas university or other overseas school (limited to those that have been evaluated by a person certified by the relevant foreign government or relevant organization for the overall status of education and research activities, or those designated by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology as equivalent thereto) and who have been awarded a degree equivalent to a bachelor's degree, or who are expected to be awarded such a degree by March 2023 (September 2022 for fall admissions).

※(6)の資格で出願する場合は、出願前に出願資格の確認を行いますので、次の期日までに学位授与（見込）証明書、学業成績証明書を入試課大学院入試係(innyushi@kit.ac.jp)まで電子メールにて送付してください。

4 月入学：令和 4 年 11 月 17 日（木）、秋入学：令和 4 年 5 月 23 日（月）

確認終了後、結果を電子メールにてお知らせします。

Note: If you are applying under (6), an eligibility check will take place prior to your application. Send a certificate of degree conferred (or anticipated completion



certificate) and university transcript by e-mail to the Admissions Office, Graduate Admissions (innyushi@kit.ac.jp) by the following dates.

April admissions: November 17, 2022 (Thu), Fall admissions: May 23, 2022 (Mon).

You will be notified of the result by e-mail after confirmation.

- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した人

Those who have completed vocational school courses specifically designated by the MEXT Minister (limited to school courses that require four or more years to complete and that satisfy the other criteria designated by the MEXT Minister) and who have completed those courses after the date designated by the MEXT Minister.

- (8) 文部科学大臣の指定した人（文部省告示第5号）

Those designated by the MEXT Minister (under Public Notice of the Ministry of Education No. 5).

- (9) 大学教育修了までの学校教育の課程が16年に満たない国において大学教育を修了した人で、次のア及びイの要件を満たし、かつ、本研究科において大学を卒業した人と同等以上の学力があると認められた人《注1》

Those who have completed a university education in a country where the completion of a university education is less than 16 years, provided that they fulfill the requirements in items a) and b) below, and who are also acknowledged by the KIT Graduate School to have achieved an academic level equivalent or superior to that of a university graduate. <sup>Note 1</sup>

ア 大学教育修了後、日本国内または国外の大学もしくは大学共同利用機関法人等これに準ずる研究機関において、研究生、研究員等として1年以上研究に従事した人及び2023年（令和5年）3月（秋入学の場合は2022年（令和4年）9月）までに1年以上研究に従事する見込みの人

- a) Those who have engaged or will have engaged in research after completing a university education for at least one year by March 2023 (September 2022 for fall admissions) as a research student or researcher at a domestic or overseas university, or at Inter-University Research Institute Corporations.

イ 2023年（令和5年）3月（秋入学の場合は2022年（令和4年）9月）までに22歳に達する人

- b) Those who will be at least 22 years of age by March 2023 (September 2022 for fall admissions).

- (10) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した人と同等以上の学力があると認められた人で、2023年（令和5年）3月（秋入学の場合は2022年（令和4年）9月）までに22歳に達する人《注1、注2》

Those who are acknowledged by the KIT Graduate School to have achieved an academic level equivalent or superior to that of a university graduate, as proven by individual screening for entrance eligibility, and will be at least 22 years of age by March 2023 (September 2022 for fall admissions). <sup>Note 1, Note 2</sup>

《注1》 (9)または(10)の資格で出願する場合は、出願前に出願資格の認定審査を行いますので、『4 出願資格認定審査』に基づき審査の申請手続を行ってください。

Note 1: For those applying under items (9) or (10) above, eligibility screening will be undertaken to verify eligibility prior to admission application; therefore, follow the "4 Eligibility Screening" section below, to complete the form for screening.

《注2》 (10)の出願資格については、高等専門学校・短期大学の卒業生、専修学校・各種学校の卒業生、外国人学校の卒業生など大学卒業資格を有していない人を対象とします。

Note 2: Item (10) is for those without university graduation documentation such as those who graduated from "Kosen" (Colleges of Technology), junior colleges, special technical schools, international schools or any other type of schools.

- ⇒ 本特別入試に出願を希望される人は、出願前に必ず希望指導教員と連絡をとり、研究希望・内容及び出願資格等について確認してください。教員一覧（研究内容等）は、本学のホームページ（[https://ac.web.kit.ac.jp/02/gs\\_news.php](https://ac.web.kit.ac.jp/02/gs_news.php)）に掲載しています。

Applicants must contact a prospective supervisor of the target program prior to applying, in order to confirm their eligibility and specific research plan. For a list of academic staff and research content, refer to the KIT admission information webpage ([https://ac.web.kit.ac.jp/02/gs\\_news.php](https://ac.web.kit.ac.jp/02/gs_news.php)).

- ⇒ 出願資格について不明な人は、2022年（令和4年）11月上旬（秋入学の場合は2022年（令和4年）5月上旬）までに入試課大学院入試係において確認してください。

Anyone unclear about his/her admission eligibility should contact the Graduate Admissions Office by early November 2022 (early May 2022 for fall admissions).



### 3 在留資格 Status of residence

入学時まで次のいずれかの在留資格を有していることが必要です。

Incoming students must have one of the following residence statuses at the time of enrollment.

- ① 出入国管理及び難民認定法（昭和 26 年政令第 319 号）別表第 1 に定める「留学」

“Student” as prescribed in Annex No. 1 of Immigration Control and Refugee Recognition Act (Cabinet Order No. 319 of 1951)

- ② 上記の「留学」以外の在留資格で、「留学」に変更することが可能な在留資格または変更を要しない在留資格

A residence status other than “Student” that can be changed to a “Student” status or a residence status that does not require changing

### 4 出願資格認定審査 Eligibility Screening

- (1) 『2 出願資格 (9)または(10)の資格で出願を希望される人』は、以下に記載の「出願資格認定審査申請期限」までに申請書類の提出が必要となりますので入試課大学院入試係へ問い合わせてください。

Those wishing to apply under the items (9) or (10) in “2 Eligibility” above must submit the application forms by the following Eligibility Screening Application Deadline. Contact the Graduate Admissions Office for more information.

入試区分 Exam classification	出願資格認定審査申請期限 Eligibility Screening Application Deadline	出願資格認定審査結果通知 Eligibility Screening Application Results Notification
4月入学 April Admissions	2022年（令和4年）11月24日（木）16時まで 4:00 pm, 24 November 2022 (Thu)	2023年（令和5年）1月5日（木）まで 5 January, 2023 (Thu)
秋入学 Fall Admissions	2022年（令和4年）5月30日（月）16時まで 4:00 pm, 30 May 2022 (Mon)	2022年（令和4年）6月23日（木）まで 23 June, 2022 (Thu)

《注》今年度を実施する入試において出願資格認定審査を申請し、本研究科での審査の結果、出願資格があると認められた人は、他の入試区分に出願する際、再度の申請は不要です。ただし、次年度以降に実施する入試に出願の際は、当該年度の資格審査が必要となるため、再度申請を行ってください。

Those who have applied for eligibility screening for the entrance examination conducted this year and, as a result of the screening at the graduate school, are found to be eligible for application, do not need to reapply when applying for another exam classification. However, when applying for an entrance examination that will be conducted after the following year, a new eligibility screening application will be required for that year.

- (2) 審査の結果、出願資格を有すると認定された人は、改めて『6 出願手続』に基づき、出願手続を行ってください。

Those who are deemed to be eligible though the screening process must follow the procedures in “6 Application Procedures”.

### 5 出願期間 Admissions Application Period

入試区分 Exam classification	インターネット出願システム入力期間及び出願書類提出期間 Internet Application Registration Period and Admissions Application Period
4月入学 April Admissions	2023年（令和5年）1月5日（木）から2023年（令和5年）1月12日（木）まで 5 January 2023 (Thu) to 12 January 2023 (Thu)
秋入学 Fall Admissions	2022年（令和4年）6月23日（木）から2022年（令和4年）6月30日（木）まで 23 June 2022 (Thu) to 30 June 2022 (Thu)

上記の期間内に本学のインターネット出願システム (<https://www.postanet.jp/info/010050/>) にアクセスし、志願者情報の入力及び検定料支払手続を行い、印刷のうえ出願書類を提出してください。

**※インターネット出願システムへの入力のみでは出願手続は完了しません。必ず期間内に書類を提出してください。**

海外から直接出願しようとする人は、出願期間の1カ月前までに入試課大学院入試係及び希望指導教員に問い合わせてください。教員一覧（研究内容等）は、本学のホームページ ([https://ac.web.kit.ac.jp/02/gs\\_news.php](https://ac.web.kit.ac.jp/02/gs_news.php)) に掲載しています。

Within the relevant period above, applicants must access KIT’s internet application system (<https://www.postanet.jp/info/010050/>), enter their information, complete payment procedures, print out and submit the application documents.

**Note that the application procedure is not complete until applicants submit documents within the relevant application period.**

Anyone applying directly from overseas should contact the office below and consult a prospective supervisor of the target program at least one month prior to the application period. For a list of academic staff and research content, refer to the KIT admission information webpage ([https://ac.web.kit.ac.jp/02/gs\\_news.php](https://ac.web.kit.ac.jp/02/gs_news.php)).

**出願書類提出方法 How to submit application documents**

<p>入試課へ持参して提出する場合 To submit an application/documents directly to the Admissions Office</p> <p>《入試課》 松ヶ崎キャンパス 3号館 1階 《Admissions Office》 1<sup>st</sup> floor, Building No. 3, Matsugasaki Campus</p>	<p>○土曜日・日曜日・祝日は受付しておりません。 The office is closed on Saturdays, Sundays and national holidays.</p> <p>○受付時間は9時から12時まで及び13時から16時までです。 Applications are accepted between 9:00 am and 12:00 pm and between 1:00 pm and 4:00 pm.</p>
<p>郵送で提出する場合 To submit application/documents by post</p> <p>《郵送先》 〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町1番地 京都工芸繊維大学 入試課大学院入試係 Mailing address: Kyoto Institute of Technology Admissions Office, Graduate Admissions 1 Hashikami-cho Matsugasaki Sakyo-ku, Kyoto 606-8585 JAPAN</p>	<p>○それぞれの出願期間最終日までの消印（日本国内）があるものについて受け付けます。 They must be postmarked (in Japan) no later than the final day of the respective application period.</p> <p>○インターネット出願システムにて所定の事項の入力及び検定料支払手続完了後、宛名ラベル（大学送付用）をダウンロードし、市販の角2封筒に貼り付けて必要書類を封入してください。 After filling in the required items and completing the application fee payment procedure online using the Internet application system, download the address label (for sending the application package to the university) and attach it to a commercially available A4-sized envelope, enclosing the required documents without folding them.</p>

**6 出願手続 Application Procedures**

出願に際しては、本募集要項等を熟読し、登録漏れ、誤りのないようにしてください。

受験票は、システム入力及び検定料支払手続終了後、各自でインターネット出願システムから印刷し、試験当日に持参してください。

「TOEIC個人用公式認定証（原本）」以外の出願書類は、入学願書印刷時に付番される「受験番号」をそれぞれの右上に記載してから提出してください。

なお、出願に当たっては、希望する研究内容などの不一致を防ぐため、希望指導教員にあらかじめ連絡・確認しておいてください。

Carefully read the entrance requirements when applying. Avoid omissions and mistakes.

Applicants must have their admission ticket that they can print from the internet application system on the examination day.

Documents other than the “Official TOEIC score certificate (original)”, must be submitted after filling out the “examinee’s number” displayed by each top right corner on the application forms.

With regard to your application, contact the prospective supervisor with whom you wish to study, in advance, to confirm desired research content and avoid misunderstandings.

**〔出願書類〕 Application Documents**

(1) 入学願書 Admission application form:

インターネット出願システム (<https://www.postanet.jp/info/010050/>)にて所定の事項を入力し、出願者の写真をインターネット出願システムにアップロードしてください。その後、検定料の支払手続（『7 検定料の支払参照』）を行い、入学願書を印刷、提出してください。

Applicants must register the necessary items and upload their ID photo on the internet application system (<https://www.postanet.jp/info/010050/>). Applicants must complete payment procedures (refer to “7 Application Fee Payment”), print out the admission application form and submit it.

(2) 学業成績証明書 Official academic transcripts:

在籍または出身大学の学業成績証明書《注1》

Official academic transcripts from the college or university previously or currently attended<sup>Note 1</sup>

- (3) 卒業（見込）証明書 Graduation certificate (or certificate of expected graduation):

在籍大学の卒業見込証明書または出身大学の卒業証明書《注2》

Graduation certificate or certificate of expected graduation from the college or university previously or currently attended<sup>Note 2</sup>

- (4) TOEIC個人用公式認定証（原本） Official TOEIC score certificate (original):

※該当の専攻のみ Note: Only for relevant majors.

外国語の試験に代えてTOEICを課している専攻に出願する人は、TOEIC Listening & Reading 公式認定証 (Official Score Certificate) (原本) を提出してください (コピー不可)。原本は、受付後直ちに返却します (郵送で出願された場合は(6)の返信用封筒にて返却します)。

なお、TOEICスコアの有効期限は、TOEIC受験日 (公式認定証に明記されている年月日) が、出願期間の最終日から遡って、2年以内とします。

また、カレッジTOEIC等の団体特別受験制度 (IPテスト) では、スコアの公式認定証が発行されないの  
で、同テストによるスコアは認めません。

Those applying for a program using TOEIC in place of a foreign language examination must submit their official TOEIC score certificate (the original), as copies are not allowed. The certificate will be returned to the applicant as soon as a copy has been made by the Graduate Admissions Office. (Applications sent by post will be returned using the self-addressed envelope in (6)).

The official TOEIC score must be from a test taken within two years of the final day of the admission application period. Note that Institutional Program (IP) TOEIC scores are not accepted.

※次の条件を満たす人はTOEIC個人用公式認定証の提出が不要な場合があります。

詳細は26ページの「10. 選抜方法」を確認してください。

- ・主として英語による教育を行う大学を卒業した、もしくは、卒業見込である。

Note: Those who meet the following conditions, may not need to submit a TOEIC Official Score Certificate. For more details, refer to section “10. Selection method” on page 26.

- ・Those who have graduated or are expected to graduate from a university where the primary language of instruction is English.

- (5) 研究計画書 Research proposal:

本学のホームページ ([https://ac.web.kit.ac.jp/02/nyushi/daigakuin\\_yoko.html](https://ac.web.kit.ac.jp/02/nyushi/daigakuin_yoko.html)) より様式をダウンロードし、希望指導教員と相談のうえ、教員の確認印をもらって提出してください。確認の押印がないものは、出願を認めません。デザイン学専攻並びに建築学専攻に出願する人は各専攻の研究計画書で提出してください。

Consult your prospective supervisor (the KIT professor of the lab you propose to join) and submit your proposal after obtaining the professor’s seal of approval. Proposals without a seal of approval will not be accepted. A research proposal form can be downloaded from the KIT admission information webpage ([https://ac.web.kit.ac.jp/02/nyushi/daigakuin\\_yoko.html](https://ac.web.kit.ac.jp/02/nyushi/daigakuin_yoko.html)).

Those applying for the Master’s Program of Design and the Master’s Program of Architecture must submit a research proposal using the respective designated formats.

- (6) 返信用封筒 (TOEIC個人用公式認定証返却用) Self-addressed envelope (used for mailing back the Official TOEIC score certificate):

長3サイズの封筒に住所、郵便番号、氏名を明記し、84円分の郵便切手を貼ってください。

Write clearly the name, address and zip code of the place you wish to receive your Official TOEIC score certificate, and attach an 84 JPY stamp to the long type envelope (Size: 120 mm x 235 mm).

- (7) その他 Other:

ア. 現在、他の大学院に在学中の人は、当該大学院の受験許可書

- a) Those currently enrolled in a master’s program at another university must submit the entrance exam permission from the university in question.

イ. 在留資格の確認をしますので、在留カードを提示してください。

- b) Present your residence card so that your residence status can be confirmed.

ウ. 授業料免除を希望する外国人留学生は、授業料免除申請書類を併せて提出してください (47ページ参照)。

- c) International students wishing to apply for tuition fee exemption should also submit the tuition fee exemption application (see page 47).

《注1》『2 出願資格 (2)または(10)』の資格で出願する場合は、最終出身学校の学校長等が作成したものとし、高等専門学校または短期大学（以下「高等専門学校等」という）の専攻科に在籍中または出身の人は、高等専門学校等及び専攻科の両方を提出してください。

Note 1 For those applying under items (2) or (10) in “2 Eligibility,” the official academic transcripts must be approved by the principal of the last school the applicant attended. Those who are enrolled in or have graduated from an advanced course at a “Kosen” (Colleges of Technology) or a Junior College (hereinafter referred to as “Colleges of Technology”), must submit both the official transcripts of the Colleges of Technology and of the advanced course.

《注2》『2 出願資格 (2)または(10)』の資格で出願する場合は、最終出身学校の卒業（修了）証明書または卒業（修了）見込証明書とし、『2 出願資格(2)』の場合は、大学改革支援・学位授与機構が発行した学位授与（申請受理）証明書または最終学校の学校長等が証明した学位授与申請予定証明書も併せて提出してください。

Note 2 For those applying under items (2) or (10) in “2 Eligibility,” the certificate must be the graduation (completion) certificate or certificate of expected graduation of the last school the applicant attended; however, those applying under the item (2) in “2 Eligibility” must also submit the degree certification (application acceptance) from the National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education or from the last school the applicant attended which is signed by the principal.

※一部の出願書類については本学ホームページの入試情報 ([https://ac.web.kit.ac.jp/02/nyushi/daigakuin\\_yoko.html](https://ac.web.kit.ac.jp/02/nyushi/daigakuin_yoko.html)) よりダウンロードできます。

Some admission application forms can be downloaded from the KIT admission information webpage ([https://ac.web.kit.ac.jp/02/nyushi/daigakuin\\_yoko.html](https://ac.web.kit.ac.jp/02/nyushi/daigakuin_yoko.html)).

※その他、必要に応じて別途書類の提出を求めることがあります。

Other documents may be requested if necessary.

※前掲出願書類の提出については、証明書類のコピーは受理できません。

Copies of certificates are unacceptable when submitting the aforementioned documents.

※出願書類に係る個人情報、出願後の連絡、受験資格の確認、入学者の選抜、統計調査、合格通知及び入学手続のみに使用します。

Any personal information provided in the application documents will, after application, only be used for contact purposes, eligibility confirmation, admission selection, statistical surveys, and notification of acceptance and admission formalities.

※入学者選抜における個人の成績は、入学者選抜の他、成績管理・分析及び各種統計資料作成、入試結果調査、入学科・授業料免除申請者の選考及び奨学金申請者の採用推薦選考のみに使用します。

Academic records in admission selection will only be used for admission selection, management and analysis of academic records to compile statistical data, investigation on entrance examination results, screening of the persons applying for the registration fee and/or tuition waiver and screening of the scholarship applicants.

## 7 検定料の支払 Application Fee Payment

30,000円 30,000 JPY

支払方法は、コンビニエンスストア・クレジットカード・銀行ATM（ペイジー）より、選択が可能です。インターネット出願システムに表示される案内に従って、期日までに支払手続を行ってください。なお、支払には別途手数料がかかります。

ただし、下表に該当する人は、検定料が**不要**または**免除されることがある**ため、出願前に入試課大学院入試係に申し出てください。

Applicants can select one payment method from among the following: a convenience store, a financial institution's ATM (Pay-easy), or a credit card. Following the instructions on the internet application system screen, applicants must complete the payment procedures by the deadline. Note that the applicant will also be charged a transfer fee.

However, applicants who fall under one of the categories in the table below, **may be exempt from paying, or not be required to pay** the application fee. Contact the Graduate Admissions Office before applying if this applies to you.

対象者 Eligible persons	条件 Conditions	必要書類等 Required documentation	検定料 Application fee
国費外国人留学生 Japanese Government (MEXT) Scholarship students	奨学金支給期間延長の 申請予定者 Students intending to apply for an extension of government funding	国費外国人留学生であることを 証明する書類 Documents proving that the student is a Japanese Government (MEXT) Scholarship student	不要 Not required
大規模な風水害等により 被害を受けた人 Persons affected by a large-scale disaster	風水害等の発生が 出願期間前の概ね1年以内 Large-scale disaster must have occurred within 1 year before the application period	別途指示します Individual advice will be provided	全額免除の 場合あり Full exemption may apply

## 8 障害等のある人との事前相談について Preliminary Consultations with Disabled Applicants

本学に出願しようとする人で、障害等のある人は、受験上及び修学上必要な配慮を行いますので、出願の前にあらかじめ本学に申し出てください。

なお、相談が必要となる場合の事前手続は、次のとおりです。また、出願書類提出後でも、同配慮を必要とする場合は、相談の締切日にかかわらず、速やかにご相談ください。

Applicants with disabilities, who wish to apply for admission, can request KIT to allow for necessary arrangements for sitting exams and studying to be provided, prior to applying.

In addition, the following procedures are required when consultation is necessary.

In cases where such arrangements are needed, contact the Graduate Admissions Office as soon as possible, even after the admission application documents have been submitted, regardless of the consultation deadline.

### ① 相談の時期 Consultation period

原則として、出願期間の1週間前まで。

As a general rule, applicants must start their consultation at least one week prior to the admission application period.

### ② 相談の方法 Consultation method

相談書類（健康診断書などの必要書類）を提出してください。必要な場合は、本学において出願者の事情を説明できる人との面談等を行います。

Submit consultation documents (necessary documents, such as medical examination reports). If necessary, KIT will interview someone who can explain the circumstances of the applicant.

## 9 出願についての注意事項 Cautions regarding the application

- (1) 次の場合には、出願書類を受理しません。

The following types of incomplete application will not be accepted.

- ① インターネット出願システム上で出願処理が完了していない場合  
Application process has not been completed using the internet application system.
- ② 出願書類がそろっていない場合  
Some application forms/documents are lacking.
- ③ 出願書類の記載が不完全な場合  
Some application forms/documents have not been completely filled out.
- ④ 検定料が支払われていない場合  
Application Fee has not been paid

- (2) 出願書類の受理後は、記載事項の変更は認めません。

No changes in the application forms/documents will be permitted after submission.

- (3) 出願書類は TOEIC Listening & Reading 公式認定証（原本）を除き、原則返還しません。また、支払い済の検定料は、次の場合を除き、原則返還しません。

Application forms and documentation will not be returned under any circumstances. Note this exception: TOEIC Listening & Reading Official Score Certificate.

Application fees can only be returned in the following situations.

- ① 検定料を支払ったが出願しなかった（出願書類を提出しなかったまたは出願が受理されなかった）場合  
The applicant paid the application fee, but did not submit the application forms/documents, or KIT did not receive the application/documents.
  - ② 検定料を誤って二重に支払った場合  
The applicant mistakenly paid the application fee twice.
- \* 検定料返還請求の方法については、入試課大学院入試係へお問い合わせください。  
Contact the Graduate Admissions Office for information on requesting an application fee refund in these special cases.

- (4) 出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学後でも入学の許可を取り消すことがあります。

In cases where false statements are discovered in the application forms/documents, admission of the student in question may be cancelled even after enrollment procedures have been completed.

## 10 選抜方法 Selection Method

入学者の選抜は、学力検査及び書類選考により行います。

Selection of entrants will be conducted based on the results of the entrance exams and the review of submitted application documents.

なお、次の条件を満たす人については、学力検査科目「外国語」を課さない場合があります。

- ・主として英語による教育を行う大学を卒業した、もしくは、卒業見込である。

Those who have graduated or are expected to graduate from a university where the primary language of instruction is English, may be exempt from the “foreign language” section of the academic testing.

上記に該当すると思われる方は、次の日時までに電子メールにて入試課大学院入試係にご相談願います。

その際、原則として、大学において「主として英語による教育を受けた」ことを証明する書類が必要になります。

4月入学：2022年（令和4年）11月24日（木）

秋入学：2022年（令和4年）5月30日（月）

相談方法：電子メール（innyushi@kit.ac.jp）

Consult the Graduate Admissions Office by the following dates to request this exemption.

As a general rule, you will need to provide documents certifying that “you have been educated primarily in English” at your university.

April admissions: November 24, 2022 (Thu)

Fall admissions: May 30, 2022 (Mon)

Consultation method: E-mail (innyushi@kit.ac.jp)



## 11 アドミッションポリシー Admission Policy

各専攻では、専攻に係る専門的な教育研究をすることにより、以下に掲げる人材を育成します。また、この専門的な教育を修めて研究を遂行するために、以下に掲げる能力や適性を持つ人を求めます。

All programs provide the relevant specialized education and research required to develop human resources with the qualities described below. Each program seeks students possessing the abilities and aptitudes required to complete their specialized education and to carry out their research.

### 応用生物学専攻 Master's Program of Applied Biology

#### 人材育成の目標 Aims and Purposes

バイオテクノロジーに関する高度な知識、技術、展開能力を有し、社会の諸問題を解決することができるグローバルな研究者・技術者を育成する。

To foster global researchers and engineers who possess advanced knowledge, skills, and deployment capabilities in biotechnology, and who are capable of creating solutions for a range of issues confronting society.

#### 選抜の方針・ポリシー Enrollment Selection Policy

専門科目・分野に関する口述試験、英語力の評価により、求める能力・適性を判定する。

The right aptitudes will be assessed through an oral examination on specialized subjects and fields, and an evaluation of English-language skills.

#### 求める能力と適性 Required Abilities and Attitudes

ライフサイエンスに関する専門的な知識を有し、バイオテクノロジー分野での国際的活躍に意欲のある人

We are looking for applicants who possess specialized knowledge of life science and are eager to take an international role in the areas of biotechnology.

### 材料創製化学専攻 Master's Program of Innovative Materials

#### 人材育成の目標 Aims and Purposes

本専攻では、高分子物性工学、無機材料科学、材料物理化学、並びに光工学に関する十分な基礎知識をもち、高分子やセラミックスなどをベースにして高次構造化・機能化のアプローチにより実効性ある革新材料開発を実現する応用能力を身につけた人材を育成します。加えて、材料開発に携わる研究技術者として人間的に広く深い素養と自覚、豊かな国際性を併せもつ人材を育成します。

本専攻の修了生は、電気製品、化学（プラスチック、有機、無機他）、繊維製品、ゴム製品、ガラス・セラミックス、その他製品等の企業において研究・開発技術者として活躍すると期待されます。

The department trains students in sufficient fundamental polymer science and engineering, inorganic materials science, physical chemistry of materials, and optical engineering, and ensures they can apply their abilities to effectively develop innovative materials based on polymers and ceramics through higher-order structuring and functionalization approaches. In addition, the program fosters individuals who have a broad and deep humanistic background and self-awareness as research engineers engaged in materials development, as well as a rich international outlook.

Graduates of the program will be active as research and development engineers in companies engaged in electronic products, chemicals (plastic, organic, inorganic, etc.), textiles, rubber products, glass, ceramics, and other products.

#### 選抜の方針・ポリシー Enrollment Selection Policy

専門科目・分野に関する口述試験、英語力の評価により、求める能力・適性を判定する。

The right aptitudes will be assessed through an oral examination on specialized subjects and fields, and an evaluation of English-language skills.

#### 求める能力と適性 Required Abilities and Attitudes

高分子材料やセラミック材料の専門領域に対して強い関心を示し、それらの材料を科学する心の知性と実現する意欲、ならびに特に、国際的な視野から問題発掘できる能力

We admit students who have a strong interest in macromolecular and ceramic materials, are intellectually capable of scientific analysis of these materials and are eager to undertake these studies. In student selection, we place the most weight on an ability to address issues from international points of view.



## 材料制御化学専攻 Master's Program of Material's Properties Control

**人材育成の目標 Aims and Purposes**

高い機能を持つ材料を扱う研究技術者は、高分子、無機材料などの個々の特性についての知識に止まらず、機能の源となる基礎的な性質について深く理解していることが求められます。本専攻では、それらの知識と理解に基づき、社会に役立つ材料とは何かを考え、将来への見通しを持つ人材、さらに自らの技術力をグローバルに展開する国際性をもつ人材を育成します。

Research engineers who handle highly functional materials must not only have knowledge of the individual properties of polymers and inorganic materials, but also a deep understanding of the fundamental properties that are the source of their functions. Based on this knowledge and understanding, this department trains students to consider what materials are useful to society, to have a vision for the future, and to have an international mindset to develop their own technological capabilities on a global scale.

**選抜の方針・ポリシー Enrollment Selection Policy**

専門科目・分野に関する口述試験、英語力の評価により、求める能力・適性を判定する。

The right aptitudes will be assessed through an oral examination on specialized subjects and fields, and an evaluation of English-language skills.

**求める能力と適性 Required Abilities and Attitudes**

高分子物質、無機物質などの集合体による、材料のブレークスルーを実現することを志向しつつ、真に豊かな社会の発展を目指し、特に、国際的な視野から問題発掘できる能力

We seek to enroll persons keen to develop a truly prosperous society while aspiring to realize material breakthroughs using aggregates consisting of substances such as macromolecular and inorganic materials. In particular, importance is placed on the ability to discover problems from international points of view.

## 物質合成化学専攻 Master's Program of Materials Synthesis

**人材育成の目標 Aims and Purposes**

本専攻では、有機、無機、高分子化合物、各種ハイブリッドの合成化学、精密分子設計、界面材料化学、ならびにヘテロ元素化学に関する十分な基礎知識をもち、精密合成を基盤にボトムアップのアプローチで医薬品、農薬、発光素子、液晶分子、界面活性物質、繊維改質剤、光反応性触媒など革新的な物質や材料の創成を実現する応用能力を身につけた人材を育成します。加えて、材料開発に携わる研究技術者として、人間的に広く深い素養と自覚、ならびに豊かな国際性を併せもつ人材を育成します。本専攻の修了生は、化学（有機、プラスチック、油脂他）、医薬品、繊維製品分野等の企業において、化学製品や機能材料の創製に軸足を置いた研究・開発技術者として活躍すると期待されます。

This program provides students with sufficient fundamental knowledge of the synthetic chemistry of organic, inorganic, and macromolecular compounds and their hybrids, precision molecular design, interfacial materials chemistry, and heteroatom chemistry, and with a bottom-up approach based on precision synthesis to develop innovative materials, such as pharmaceuticals, agrochemicals, light emitting devices, liquid crystalline molecules, surface active materials, fiber modifiers, photoreactive catalysts, and so on. In addition, the program fosters human resources who have a broad and deep humanistic background and self-awareness as research engineers engaged in materials development, as well as an informed international outlook. Graduates of this program are expected to be active as researchers and development engineers who focus on synthesizing chemical products and functional materials in a wide range of fields, like chemical (plastics, oils and fats, etc.), pharmaceutical, textile companies, and so on.

**選抜の方針・ポリシー Enrollment Selection Policy**

専門科目・分野に関する口述試験、英語力の評価により、求める能力・適性を判定する。

The right aptitudes will be assessed through an oral examination on specialized subjects and fields, and an evaluation of English-language skills.

**求める能力と適性 Required Abilities and Attitudes**

物質の合成に強い興味と関心を持ち、化学に関する幅広い基礎知識を備え、環境との調和を考えながら、原子・分子レベルでの物質創成を通して有用な新規材料の開発を進める国際感覚に優れた能力

We seek persons who have a strong interest in materials synthesis, are equipped with a broad fundamental knowledge in chemistry, can promote the development of useful and environmentally-friendly novel substances through materials synthesis at the atomic and molecular levels, and who excel in intercultural awareness.

## 機能物質化学専攻 Master's Program of Functional Chemistry

**人材育成の目標 Aims and Purposes**

本専攻では、生体関連化学、物理・分析化学、分子構造化学、高分子化学及び化学工学に関して十分な基礎知識をもち、生物の機能や構造を再現・応用することによって、新しい物質や材料を創成するとともに、化学の視点を軸として分子レベルで物質の機能を捉え、構造を探り、その活用を促進できる応用能力を身につけた人材を育成します。加えて、他専攻の講義履修や研究交流を通じながら、広い視野で材料開発に携わる研究技術者として人間的に広く深い素養と自覚並びに豊かな国際性を併せもつ人材を育成します。

We create new materials and substances by reproducing and applying the functions and structures of living organisms, and understanding the functions of substances at the molecular level from the viewpoint of chemistry, to explore their structures, and to develop new materials with sufficient basic knowledge of bio-related chemistry, physical and analytical chemistry, molecular structural chemistry, macromolecular chemistry, and chemical engineering. Our students become human resources with practical skills they can utilize. In addition, the program fosters human resources with a broad and deep humanistic background and awareness as research engineers engaged in materials development from a broad perspective, as well as a broad international outlook, by encouraging students to take courses in other departments and engage in research exchange.

**選抜の方針・ポリシー Enrollment Selection Policy**

専門科目・分野に関する口述試験、英語力の評価により、求める能力・適性を判定する。

The right aptitudes will be assessed through an oral examination on specialized subjects and fields, and an evaluation of English-language skills.

**求める能力と適性 Required Abilities and Attitudes**

生命科学と化学の学際領域を担う機能性物質の構造と機能に関する強い興味と関心、研究遂行する上で不可欠な基礎知識と基礎学力、特に、国際的な視点に基づいて研究課題を解決する能力

We select persons who have a strong interest in the structures and functions of functional substances with important roles in the interdisciplinary domain between chemistry and the life sciences, and who are equipped with the basic knowledge and basic academic abilities indispensable to conducting research. In particular, importance is placed on the ability to solve tasks from a global perspective.

## 電子システム工学専攻 Master's Program of Electronics

**人材育成の目標 Aims and Purposes**

数学、物理学、電気電子系専門科目の十分な基礎知識を有し、再生可能エネルギー、ナノテクノロジー、新材料、エレクトロニクス、情報通信、画像処理に関する基盤技術を修得するとともに、高度な専門知識に基づいて、物理学、化学、医学との境界領域分野の開拓を先導できる能力、新しい技術を社会実装できる能力を身につけた人材の育成を目指しています。

This program develops human resources who have sufficient basic knowledge of mathematics, physics, and specialized subjects in electrical and electronic systems, and who acquire knowledge of fundamental technologies related to renewable energy, nanotechnology, new materials, electronics, information communications, and image processing, as well as the ability to lead the development of fields bordering on physics, chemistry, and medicine based on advanced specialized knowledge and the ability to implement new technologies in society.

**選抜の方針・ポリシー Enrollment Selection Policy**

専門科目・分野に関する筆記試験や口述試験、英語力の評価により、求める能力・適性を判定する。

The right aptitudes will be assessed through a written or oral examination on specialized subjects and fields, and an evaluation of English-language skills.

**求める能力と適性 Required Abilities and Attitudes**

修学及び研究活動に必要な英語力、基礎学力、希望研究分野に関連した専門基礎知識、研究意欲

We seek persons who are equipped with English ability and the underlying academic ability required for the course of study and accompanying research activity. Prospective students should possess fundamental specialized knowledge and eagerness regarding their desired research field.

## 情報工学専攻 Master's Program of Information Science

**人材育成の目標 Aims and Purposes**

あらゆる産業基盤を支えているICTについての高度な知識と技能を身に付け、情報機器製造業をはじめとする様々な製造業において、またICTを活用したサービス事業を展開する企業において、さらにはICTに関連した様々な企業および教育・研究機関において、リーダーシップを持ちつつ自発的かつ国際的に研究・開発を行い、人間中心型の豊かな情報社会の構築を先導する研究技術者の育成です。

The Information Science program fosters research engineers who acquire advanced knowledge and skills in ICT, which supports all industrial infrastructures, and who will lead the construction of a rich, humane information society through voluntary and international research and development with leadership in various manufacturing industries, including information equipment manufacturing, companies developing service businesses utilizing ICT, and various ICT-related companies and educational/research institutions.

**選抜の方針・ポリシー Enrollment Selection Policy**

専門科目・分野に関する筆記試験や口述試験、英語力の評価により、求める能力・適性を判定する。

The right aptitudes will be assessed through written and oral examinations in specialized subjects and fields, and an evaluation of English-language skills.

**求める能力と適性 Required Abilities and Attitudes**

専攻での教育・研究に必要な情報工学、数学の知識及び研究活動に必要な英語能力と修学に必要な日本語能力を有し、豊かな情報社会を実現する強い熱意を持って、グローバルな視点で研究・開発に取り組む意欲

We seek applicants who possess the knowledge of information technology and mathematics necessary for education and research in this major, as well as the English-language skills necessary for research activity and the Japanese-language skills necessary for study. Applicants must be motivated to engage in research and development from a global perspective with a strong enthusiasm for realizing a prosperous information society.

## 機械物理学専攻 Master's Program of Mechanophysics

**人材育成の目標 Aims and Purposes**

機械物理学専攻は、機械工学の根幹をなす力学分野を中心に、様々な物理現象を理解するための理論的、実験的および数値的解析手法を身に付け、実際の工学的問題に応用する能力を有し、国際的に活躍できる「探知的価値創造力」を持つ機械技術者・研究者を育成することを目的としています。

The Mechanophysics program fosters mechanical engineers and researchers who have acquired theoretical, experimental, and numerical analytical methods. Students come to understand various physical phenomena with the mechanics focus fundamental to this engineering field and develop the ability to apply this knowledge to real-life engineering problems. In addition, students develop "exploratory value creation ability" enabling them to be active internationally.

**選抜の方針・ポリシー Enrollment Selection Policy**

専門科目・分野に関する筆記試験や口述試験、英語力の評価により、求める能力・適性を判定する。

The right aptitudes will be assessed through written and oral examinations in specialized subjects and fields, and an evaluation of English-language skills.

**求める能力と適性 Required Abilities and Attitudes**

機械工学の基礎学力を有し、自然やものづくりに対する好奇心と深い洞察力を持ち、さらに自ら問題を設定して、その解決に向けて独創的・先端的・挑戦的に取り組める能力

We seek persons who are equipped with basic academic ability in mechanical engineering, have curiosity and deep insight regarding nature and manufacturing, and are also capable of identifying problems on their own and persistently developing original solutions to these problems at a state-of-the-art level.

## 機械設計学専攻 Master's Program of Mechanodesign

**人材育成の目標 Aims and Purposes**

機械設計学専攻は、機械工学のみならず幅広い先端的テクノロジーに精通し、これらの工学的知識を横断的に駆使することによりイノベーションをデザインする能力を有し、国際的に活躍できる「実践的価値創造力」を持つ機械技術者・研究者を育成することを目的としています。

The Mechanodesign program fosters mechanical engineers and researchers who are familiar with a wide range of advanced

technologies as well as mechanical engineering, have the ability to design innovations by making full use of such engineering knowledge across the board, and have the "practical value creation ability" to be active internationally.

#### **選抜の方針・ポリシー Enrollment Selection Policy**

専門科目・分野に関する筆記試験や口述試験、英語力の評価により、求める能力・適性を判定する。

The right aptitudes will be assessed through written and oral examinations in specialized subjects and fields, and an evaluation of English-language skills.

#### **求める能力と適性 Required Abilities and Attitudes**

機械工学の基礎学力を有し、自然やものづくりに対する好奇心と深い洞察力を持ち、さらに自ら問題を設定して、その解決に向けて独創的・先端的・挑戦的に取り組める能力

We seek persons who are equipped with basic academic ability in mechanical engineering, have curiosity and deep insight regarding nature and manufacturing, and are also capable of identifying problems on their own and persistently developing original solutions to these problems at a state-of-the-art level.

### デザイン学専攻 Master's Program of Design

#### **人材育成の目標 Aims and Purposes**

本専攻では、モノづくりに関わる専門的な社会実装能力を身につけ、異分野の専門家との混合チームの中でデザイナーやエンジニア、またマネージャーとして力を発揮でき、アイデアを実現するためのプレゼンテーション能力と英語でのコミュニケーション能力を身につけ、また、キュレーション分野においては、美術、デザイン、建築などの作品や作者についての基本的な知識を習得し、それを踏まえて作品の分析と文献の解読による理論構築をするとともに、対象の「価値」を「キュレーション」（「企画」「編集」「ディレクション」「展示」「発信」）という形式でも示しうる能力を身につけた人材の育成を目指しています。

Design program students acquire specialized social implementation skills related to manufacturing, become able to demonstrate their abilities as designers, engineers, and managers in mixed teams with specialists from different fields, acquire presentation skills and communication skills in English to realize their ideas, and in the field of curation, acquire fundamental art, design, architecture, and related knowledge. Their knowledge of masters in these areas enables them to build theories by analyzing works and deciphering literature, as well as "curating" (planning, editing, directing, exhibiting, and disseminating) the "value" of a subject. Our goal is to develop human resources with the ability to demonstrate all this in a formal way, as well.

#### **選抜の方針・ポリシー Enrollment Selection Policy**

専門科目・分野に関する実技または筆記試験、研究計画や専門知識に関する口述試験、英語力の評価により、求める能力・適性を判定する。

The right aptitudes will be assessed through practical or written examinations on the specialized subjects and fields, an oral examination on research plans and specialized knowledge, and an evaluation of English-language skills.

#### **求める能力と適性 Required Abilities and Attitudes**

デザイン、ビジネス、テクノロジー、キュレーションに関する基本的な知識と制作スキル、柔軟で独創的な発想力、さらに深い専門知識と創造的な方法論を研究・実践していく意欲を持つこと。

表現・造形の基本形をマスターしたデザイン系学科、建築系学科の大学の卒業生や、経営系学科、生活科学系学科、エンジニアリング系学科の卒業生、及びそれらと同等の学力を有するモノ・空間・サービス等のデザインやキュレーションに関心のある他学科の卒業生を選抜の対象とする。

We are looking for people with basic knowledge and production skills related to design, business, technology and curation. Applicants should be flexible and creative thinkers motivated to research topics deeply, put expertise into practice and create new methodologies.

Applicants eligible for selection include design or architectural degree graduates, who have mastered the basic forms of expression and design, business administration graduates, life science graduates, engineering graduates as well as those from other disciplines with equivalent academic ability, who are interested in the design and curation of objects, space and services.

#### **※修了方法について**

本専攻には、修了審査に論文を提出する論文型と、デザインの実制作の成果を提出する特定課題型の2種類の修了方法があります。出願時にどちらかを選択する必要があります。

Note: About the method of completion

There are two completion methods for this Program. The master's thesis type, based on which the student submits a thesis for

defence; and the master's final project on a specific topic type, based on which the student submits an actual design production work. Candidates are required to choose one of the two at the time of application.

## 建築学専攻 Master's Program of Architecture

### 人材育成の目標 Aims and Purposes

本専攻では、国際的な競争力を有した都市・建築の計画立案、設計、総合的マネジメントの能力を有し、歴史や環境、地域に根ざした都市・建築の保存・修復・再生に関する構想力と、総合的マネジメント能力を身に付け、さらに、デザインやまちづくりの合意形成や研究内容の社会化を意識した、高い説明能力を有している人材の育成を目指しています。

This program develops internationally competitive urban and architectural planning, design, and comprehensive management skills, as well as conceptual and comprehensive management skills for the preservation, restoration, and revitalization of cities and architecture rooted in history, the environment, and local communities. Furthermore, our graduates become highly accountable professionals who are aware of consensus building in design and urban development and the social applications of research content.

### 選抜の方針・ポリシー Enrollment Selection Policy

専門科目・分野の実技試験または小論文、研究計画や専門知識または持参作品に関する口述試験、英語力の評価により、求める能力・適性を判定する。

The right aptitudes will be assessed through a practical examination or essay on a specialized subject or field, an oral examination on the research plan, specialized knowledge, or work brought by the applicant, and an evaluation of English-language skills.

### 求める能力と適性 Required Abilities and Attitudes

建築学に関する基礎的な学力と建築設計能力、柔軟で独創的な発想力、さらに深い専門知識と創造的な方法論を研究・実践していく意欲を持つこと。

特に京都という地において都市・建築を学ぶことに意識的な人材、歴史と場所性に寄り添う思考態度を持つ人材、地球規模で都市・建築とそのデザインを考える発想力と創造意欲を有する人材を求める。

We seek applicants with basic academic and design abilities regarding architecture. Applicants should be flexible and creative thinkers motivated to research topics deeply, put expertise into practice and create new methodologies.

We expect applicants to be persons who are especially aware of the significance of studying urbanism and architecture in Kyoto, having approaches and attitudes sensitive to local history and characteristics of places, or possessing imagination and creativity when thinking about urbanism and architecture on a global scale.

## 先端ファイブロ科学専攻 Master's Program of Advanced Fibro-Science

### 人材育成の目標 Aims and Purposes

テキスタイルサイエンス・エンジニアリングを学ぶことにより、人と環境に優しいものづくりができ、かつ未知のものに向かって自らの考えでアプローチができる応用力を身につけた人材を育成します。

Students in this program will pursue human-oriented and environmentally friendly functions and systems by learning about textile science and engineering. This program is designed to foster self-driven professionals equipped with the spirit to tackle the unknown as well as practical and applicable skills.

### 選抜の方針・ポリシー Enrollment Selection Policy

積極的な知識の習得意欲ならびに課題解決に対しての積極性を求める。英語による筆記試験、これまで学んできた専門知識に関する口述試験の評価により、能力・適性を判定する。

We assess the motivation and positive mind to solve the research theme during the oral examination. English-language skills are evaluated by the writing test.

### 求める能力と適性 Required Abilities and Attitudes

自然科学に関する基礎学力を備え、自身の研究に閉じこもることなく広く知識を得ようとする深い感性と、問題を発見・解決し、それを論理的に説明する能力があり、研究成果が社会に還元できるよう常に自ら思考し実行する情熱と忍耐力

We are looking for applicants who possess basic academic abilities in natural science, have an intense curiosity to pursue extensive knowledge beyond their own interests, are capable of identifying and resolving problems and offering logical explanations, and have the passion and perseverance necessary to reinvest the results of their research in society.



**人材育成の目標 Aims and Purposes**

バイオベースマテリアル学専攻は、人類が直面する地球環境問題の解決と理想的な未来社会を実現しようとする気概を持ち、高度に分化・専門化した現代の科学技術の基礎を横断的かつ国際的に理解し、その課題解決のために協働できる人材を育成します。その目的達成のためには、植物バイオマスからの原料開拓とそれをを用いた高分子材料の合成、高分子材料の物性や微細構造の解析および成形加工などバイオベースマテリアルに関する研究開発が不可欠であり、これらの分野を理解できる人材を育成します。

The Biobased Materials Science program fosters human resources who are determined to solve the global environmental problems facing mankind and realize an ideal future society, who understand the fundamentals of today's highly differentiated and specialized science and technology in a cross-disciplinary and international manner, and who can work together to solve such problems. To achieve this goal, it is essential to develop raw materials from plant biomass, synthesize polymer materials using such materials, analyze the physical properties and microstructure of polymer materials, and conduct research and development on biobased materials, such as molding and processing.

**選抜の方針・ポリシー Enrollment Selection Policy**

知識の習得とバイオベースマテリアルの研究に意欲的に取り組み、その実現を目指す人を求めます。口述試験及び英語力の評価により、求める能力・適性を判定する。

We are looking for applicants who will acquire knowledge and play an active role in research regarding biobased materials to realize a society supported by and reliant on these materials. The right aptitudes will be assessed through an oral examination on specialized subjects and fields, and an evaluation of English-language skills.

**求める能力と適性 Required Abilities and Attitudes**

環境問題への関心と解決意欲を備え、科学に対する興味が高く、研究成果の社会に対する貢献心を持っていること。

We are looking for applicants who are interested in environmental issues, science and the willingness to solve related problems. Also, they will contribute the future research results to the society.

## 12 学力検査日時、検査方法及び場所等 Examination Date, Place and Method

## (1) 学力検査日時及び科目 Examination subjects and schedule

## ① 2023年(令和5年)4月入学 April Admissions for 2023

専攻 Master's Program	学力検査日 Exam Date	区分 Classification	学力検査科目・時間Exam Subject and Time	配点 Points	内 容 Content
応用生物学専攻 Master's Program of Applied Biology	2023年 (令和5年) 2月10日(金) 10 Feb. 2023 (Fri)		外国語 (筆記試験は実施しない) Foreign language (No written examination)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。 Official TOEIC score certificate submitted at the time of application will be used for evaluation, instead of a written examination.
		口述 試験 Oral exam	13:00 ~	100	応用生物学について実施する。 Applied biology
材料創製化学専攻 Master's Program of Innovative Materials	2023年 (令和5年) 2月10日(金) 10 Feb. 2023 (Fri)		外国語 (筆記試験は実施しない) Foreign language (No written examination)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。 Official TOEIC score certificate submitted at the time of application will be used for evaluation, instead of a written examination.
		口述 試験 Oral exam	9:30 ~	200	研究する分野に関連した科目についての基礎及び専門的学力について問う。 Interviews on basic and specialized knowledge concerning subjects related to the field of study.
材料制御化学専攻 Master's Program of Material's Properties Control	2023年 (令和5年) 2月10日(金) 10 Feb. 2023 (Fri)		外国語 (筆記試験は実施しない) Foreign language (No written examination)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。 Official TOEIC score certificate submitted at the time of application will be used for evaluation, instead of a written examination.
		口述 試験 Oral exam	9:30 ~	200	研究する分野に関連した科目についての基礎及び専門的学力について問う。 Interviews on basic and specialized knowledge concerning subjects related to the field of study.
物質合成化学専攻 Master's Program of Materials Synthesis	2023年 (令和5年) 2月10日(金) 10 Feb. 2023 (Fri)		外国語 (筆記試験は実施しない) Foreign language (No written examination)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。 Official TOEIC score certificate submitted at the time of application will be used for evaluation, instead of a written examination.
		口述 試験 Oral exam	9:30 ~	200	研究する分野に関連した科目についての基礎及び専門的学力について問う。 Interviews on basic and specialized knowledge concerning subjects related to the field of study.

(次ページへ続く / NEXT PAGE)



2023 年 (令和 5 年) 4 月入学 April Admissions for 2023

専攻 Master's Program	学力検査日 Exam Date	区分 Classification	学力検査科目・時間Exam Subject and Time	配点 Points	内 容 Content
機能物質化学専攻 Master's Program of Functional Chemistry	2023 年 (令和 5 年) 2 月 10 日 (金) 10 Feb. 2023 (Fri)		外国語 (筆記試験は実施しない) Foreign language ( No written examination )	100	筆記試験に代えて、出願時に提出された TOEIC 個人用公式認定証のスコアにより、評価する。 Official TOEIC score certificate submitted at the time of application will be used for evaluation, instead of a written examination.
		口述試験 Oral exam	9:30 ~	200	研究する分野に関連した科目についての基礎及び専門的学力について問う。 Interviews on basic and specialized knowledge concerning subjects related to the field of study.
電子システム工学専攻 Master's Program of Electronics	2023 年 (令和 5 年) 2 月 10 日 (金) 10 Feb. 2023 (Fri)		外国語 (筆記試験は実施しない) Foreign language ( No written examination )	50	筆記試験に代えて、出願時に提出された TOEIC 個人用公式認定証のスコアにより、評価する。 Official TOEIC score certificate submitted at the time of application will be used for evaluation, instead of a written examination.
		筆記試験 Written exam	専門科目 10:00 ~ 12:00 ( 120分/ 120 minutes ) Specialized subject	150	電磁気学、電気回路、電子回路の 3 題 Questions on three topics: electromagnetism, electric circuits and electronic circuits
		口述試験 Oral exam	13:30 ~	100	志望分野に関連する科目の専門的学力等について実施する。 Interviews on specialized knowledge in subjects relating to the field of choice
情報工学専攻 Master's Program of Information Science	2023 年 (令和 5 年) 2 月 10 日 (金) 10 Feb. 2023 (Fri)		外国語 (筆記試験は実施しない) Foreign language ( No written examination )	200	筆記試験に代えて、出願時に提出された TOEIC 個人用公式認定証のスコアにより、評価する。 Official TOEIC score certificate submitted at the time of application will be used for evaluation, instead of a written examination.
		筆記試験 Written exam	専門科目 9:30 ~ 12:00 ( 150分/ 150 minutes ) Specialized subject	300	プログラミング、ハードウェア、情報通信の 3 題 Questions on three topics: programming, hardware and information communication
		口述試験 Oral exam	13:30 ~	100	基礎的な知識を問うことがある。日本語による試問を含む。 Interviews on basic knowledge, including interviews in Japanese.

( 次ページへ続く / NEXT PAGE )

## 2023 年 (令和 5 年) 4 月入学 April Admissions for 2023

専攻 Master's Program	学力検査日 Exam Date	区分 Classification	学力検査科目・時間Exam Subject and Time	配点 Points	内 容 Content
機械物理学専攻 Master's Program of Mechanophysics	2023 年 (令和 5 年) 2 月 10 日 (金) 10 Feb. 2023 (Fri)		外国語 (筆記試験は実施しない) Foreign language ( No written examination )	100	筆記試験に代えて、出願時に提出された T O E I C 個人用公式認定証のスコアに より、評価する。 Official TOEIC score certificate submitted at the time of application will be used for evaluation, instead of a written examination.
		口述 試験 Oral exam	13:30 ~	300	機械工学の基礎事項に関する知識を問 う。 Interviews on basic knowledge of mechanical engineering.
機械設計学専攻 Master's Program of Mechanodesign	2023 年 (令和 5 年) 2 月 10 日 (金) 10 Feb. 2023 (Fri)		外国語 (筆記試験は実施しない) Foreign language ( No written examination )	100	筆記試験に代えて、出願時に提出された T O E I C 個人用公式認定証のスコアに より、評価する。 Official TOEIC score certificate submitted at the time of application will be used for evaluation, instead of a written examination.
		口述 試験 Oral exam	13:30 ~	300	機械工学の基礎事項に関する知識を問 う。 Interviews on basic knowledge of mechanical engineering.
デザイン学専攻 Master's Program of Design	2023 年 (令和 5 年) 2 月 10 日 (金) 10 Feb. 2023 (Fri)		外国語 (筆記試験は実施しない) Foreign language ( No written examination )	100	筆記試験に代えて、出願時に提出された T O E I C 個人用公式認定証のスコアに より、評価する。 Official TOEIC score certificate submitted at the time of application will be used for evaluation, instead of a written examination.
		実技 または 筆記 試験 Practical or Written exam	専門科目 9:30 ~ 12:00 ( 150分/ 150 minutes ) Specialized subject	300	特定課題型は、デザインに関わる問題 (実技を含む)。 論文型は、デザイン、ビジネス、テクノ ロジー、キュレーションに関わる記述 問題 4 題のうちから 1 題を選択。 試験は、英語で行う場合もあります。 For the master's final project on a specific topic type, questions are related to design (including practical skills). For the master's thesis type, examinees must select one of four essay questions related to design, business, technology, and curation. The examination may be conducted in English.
		口述 試験 Oral exam	13:00 ~	200	研究計画書の内容、関連する専門知識、 持参した資料について実施する。 The oral examination is conducted on the applicants' research proposals and related specialized knowledge as well as materials they bring to the entrance examination.

(次ページへ続く / NEXT PAGE)

2023 年 (令和 5 年) 4 月入学 April Admissions for 2023

専攻 Master's Program	学力検査日 Exam Date	区分 Classification	学力検査科目・時間Exam Subject and Time	配点 Points	内 容 Content
建築学専攻 Master's Program of Architecture	2023 年 (令和 5 年) 2 月 10 日 (金) 10 Feb. 2023 (Fri)		外国語 (筆記試験は実施しない) Foreign language (No written examination)	200	筆記試験に代えて、出願時に提出された TOEIC 個人用公式認定証のスコアにより、評価する。 Official TOEIC score certificate submitted at the time of application will be used for evaluation, instead of a written examination.
		実技 または 筆記 試験 Practical or Written exam	小論文・設計 9:00 ~ 13:00 ( 240分 / 240 minutes ) Essay or Architectural design examination	300	小論文または設計のうちから 1 つを選択。小論文については、建築学全般から出題される 3 題から 1 題を選択。設計については、解答用のケント紙を A2 サイズとする。 Choose to take either an essay or a practical architectural design examination. The essay examination requires examinees to choose one topic from among three general architectural studies questions. For the design exam, an A2 size Kent paper should be used for the solution.
		口述 試験 Oral exam	14:30 ~	200	研究計画及び関連する専門的知識について、または持参作品について実施する。 Interviews on your research proposal and related specialized knowledge as well as your portfolio brought to the entrance examination.
先端ファイブロ 科学専攻 Master's Program of Advanced Fibro-Science	2023 年 (令和 5 年) 2 月 10 日 (金) 10 Feb. 2023 (Fri)	筆記 試験 Written exam	外国語 9:30 ~ 12:00 ( 150分 / 150 minutes ) Foreign language	100	英語 English
		口述 試験 Oral exam	13:00 ~	200	志望分野及び関連分野の専門的学力等について実施する。日本語による試問を含む。 Interviews on specialized knowledge related to your desired research area, including interviews in Japanese.
バイオベース マテリアル学専攻 Master's Program of Biobased Materials Science	2023 年 (令和 5 年) 2 月 10 日 (金) 10 Feb. 2023 (Fri)		外国語 (筆記試験は実施しない) Foreign language (No written examination)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出された TOEIC 個人用公式認定証のスコアにより、評価する。 Official TOEIC score certificate submitted at the time of application will be used for evaluation, instead of a written examination.
		口述 試験 Oral exam	11:00 ~	200	志望分野及び関連分野の専門的学力の口述試問等を含む。 Interviews on specialized knowledge.

② 2022年(令和4年)秋入学 Fall Admissions for 2022

専攻 Master's Program	学力検査日 Exam Date	区分 Classification	学力検査科目・時間Exam Subject and Time	配点 Points	内 容 Content
応用生物学専攻 Master's Program of Applied Biology	2022年 (令和4年) 8月22日(月) 22 Aug, 2022 (Mon)		外国語 (筆記試験は実施しない) Foreign language (No written examination)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。 Official TOEIC score certificate submitted at the time of application will be used for evaluation, instead of a written examination.
		口述試験 Oral exam	13:00 ~	100	応用生物学について実施する。 Applied biology
材料創製化学専攻 Master's Program of Innovative Materials	2022年 (令和4年) 8月22日(月) 22 Aug, 2022 (Mon)		外国語 (筆記試験は実施しない) Foreign language (No written examination)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。 Official TOEIC score certificate submitted at the time of application will be used for evaluation, instead of a written examination.
		口述試験 Oral exam	10:00 ~	200	研究する分野に関連した科目についての基礎及び専門的学力について問う。 Interviews on basic and specialized knowledge concerning subjects related to the field of study.
材料制御化学専攻 Master's Program of Material's Properties Control	2022年 (令和4年) 8月22日(月) 22 Aug, 2022 (Mon)		外国語 (筆記試験は実施しない) Foreign language (No written examination)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。 Official TOEIC score certificate submitted at the time of application will be used for evaluation, instead of a written examination.
		口述試験 Oral exam	10:00 ~	200	研究する分野に関連した科目についての基礎及び専門的学力について問う。 Interviews on basic and specialized knowledge concerning subjects related to the field of study.
物質合成化学専攻 Master's Program of Materials Synthesis	2022年 (令和4年) 8月22日(月) 22 Aug, 2022 (Mon)		外国語 (筆記試験は実施しない) Foreign language (No written examination)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。 Official TOEIC score certificate submitted at the time of application will be used for evaluation, instead of a written examination.
		口述試験 Oral exam	10:00 ~	200	研究する分野に関連した科目についての基礎及び専門的学力について問う。 Interviews on basic and specialized knowledge concerning subjects related to the field of study.

(次ページへ続く / NEXT PAGE)

2022 年 (令和 4 年) 秋入学 Fall Admissions for 2022

専攻 Master's Program	学力検査日 Exam Date	区分 Classification	学力検査科目・時間Exam Subject and Time	配点 Points	内 容 Content
機能物質化学専攻 Master's Program of Functional Chemistry	2022 年 (令和 4 年) 8 月 22 日 (月) 22 Aug, 2022 (Mon)		外国語 (筆記試験は実施しない) Foreign language ( No written examination )	100	筆記試験に代えて、出願時に提出された TOEIC 個人用公式認定証のスコアにより、評価する。 Official TOEIC score certificate submitted at the time of application will be used for evaluation, instead of a written examination.
		口述試験 Oral exam	10:00 ~	200	研究する分野に関連した科目についての基礎及び専門的学力について問う。 Interviews on basic and specialized knowledge concerning subjects related to the field of study.
電子システム工学専攻 Master's Program of Electronics	2022 年 (令和 4 年) 8 月 22 日 (月) 22 Aug, 2022 (Mon)		外国語 (筆記試験は実施しない) Foreign language ( No written examination )	50	筆記試験に代えて、出願時に提出された TOEIC 個人用公式認定証のスコアにより、評価する。 Official TOEIC score certificate submitted at the time of application will be used for evaluation, instead of a written examination.
		筆記試験 Written exam	専門科目 10:00 ~ 12:00 ( 120分/ 120 minutes ) Specialized subject	150	電磁気学、電気回路、電子回路の 3 題 Questions on three topics: electromagnetism, electric circuits and electronic circuits
		口述試験 Oral exam	13:30 ~	100	志望分野に関連する科目の専門的学力等について実施する。 Interviews on specialized knowledge in subjects relating to the field of choice
情報工学専攻 Master's Program of Information Science	2022 年 (令和 4 年) 8 月 22 日 (月) 22 Aug, 2022 (Mon)		外国語 (筆記試験は実施しない) Foreign language ( No written examination )	150	筆記試験に代えて、出願時に提出された TOEIC 個人用公式認定証のスコアにより、評価する。 Official TOEIC score certificate submitted at the time of application will be used for evaluation, instead of a written examination.
		筆記試験 Written exam	数学 10:00 ~ 12:00 ( 120分/ 120 minutes ) Mathematics	150	微積分 (常微分方程式を含む)、線形代数、確率統計の 3 題 Calculus (including ordinary differential equations), linear algebra, and probability and statistics
		筆記試験 Written exam	専門科目 13:30 ~ 15:30 ( 120分/ 120 minutes ) Specialized subject	200	プログラミング (C, Java, データ構造とアルゴリズム) Programing (C, Java, data structure and algorithms)
	2022 年 (令和 4 年) 8 月 23 日 (火) 23 Aug, 2022 (Tue)	口述試験 Oral exam	13:30 ~	100	基礎的な知識を問うことがある。日本語による試問を含む。 Interviews on basic knowledge, including interviews in Japanese.

( 次ページへ続く / NEXT PAGE )

## 2022年(令和4年)秋入学

## Fall Admissions for 2022

専攻 Master's Program	学力検査日 Exam Date	区分 Classification	学力検査科目・時間 Exam Subject and Time	配点 Points	内容 Content
機械物理学専攻 Master's Program of Mechanophysics	2022年 (令和4年) 8月22日(月) 22 Aug, 2022 (Mon)		外国語 (筆記試験は実施しない) Foreign language (No written examination)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出された TOEIC個人用公式認定証のスコアに より、評価する。 Official TOEIC score certificate submitted at the time of application will be used for evaluation, instead of a written examination.
		筆記 試験 Written exam	専門科目 13:00 ~ 14:30 (90分/90 minutes) Specialized subject	200	材料力学、機械力学、熱力学、流体力学 の分野から各2題(計8題)のうちから 2題を選択。 Select two questions from each of the following fields: Strength of Materials, Kinematics and Dynamics of Mechanical Systems, Thermodynamics, and Fluid Dynamics (total of eight questions).
機械設計学専攻 Master's Program of Mechanodesign	2022年 (令和4年) 8月22日(月) 22 Aug, 2022 (Mon)		外国語 (筆記試験は実施しない) Foreign language (No written examination)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出された TOEIC個人用公式認定証のスコアに より、評価する。 Official TOEIC score certificate submitted at the time of application will be used for evaluation, instead of a written examination.
		筆記 試験 Written exam	専門科目 13:00 ~ 14:30 (90分/90 minutes) Specialized subject	200	材料力学、機械力学、熱力学、流体力学 の分野から各2題(計8題)のうちから 2題を選択。 Select two questions from each of the following fields: Strength of Materials, Kinematics and Dynamics of Mechanical Systems, Thermodynamics, and Fluid Dynamics (total of eight questions).

(次ページへ続く / NEXT PAGE)



2022 年 (令和 4 年) 秋入学 Fall Admissions for 2022

専攻 Master's Program	学力検査日 Exam Date	区分 Classification	学力検査科目・時間 Exam Subject and Time	配点 Points	内 容 Content
デザイン学専攻 Master's Program of Design	2022 年 (令和 4 年) 8 月 22 日 (月) 22 Aug, 2022 (Mon)		外国語 (筆記試験は実施しない) Foreign language ( No written examination )	100	筆記試験に代えて、出願時に提出された TOEIC 個人用公式認定証のスコアにより、評価する。 Official TOEIC score certificate submitted at the time of application will be used for evaluation, instead of a written examination.
		実技 または 筆記 試験 Practical or Written exam	専門科目 9:30 ~ 12:00 ( 150分/ 150 minutes ) Specialized subject	300	特定課題型は、デザインに関わる問題 (実技を含む)。 論文型は、デザイン、ビジネス、テクノロジー、キュレーションに関わる記述問題 4 題のうちから 1 題を選択。 試験は、英語で行う場合もあります。 For the master's final project on a specific topic type, questions are related to design (including practical skills). For the master's thesis type, examinees must select one of four essay questions related to design, business, technology, and curation. The examination may be conducted in English.
		口述 試験 Oral exam	13:00 ~	200	研究計画書の内容、関連する専門知識、持参した資料について実施する。 The oral examination is conducted on the applicants' research proposals and related specialized knowledge as well as materials they bring to the entrance examination.
建築学専攻 Master's Program of Architecture	2022 年 (令和 4 年) 8 月 22 日 (月) 22 Aug, 2022 (Mon)		外国語 (筆記試験は実施しない) Foreign language ( No written examination )	200	筆記試験に代えて、出願時に提出された TOEIC 個人用公式認定証のスコアにより、評価する。 Official TOEIC score certificate submitted at the time of application will be used for evaluation, instead of a written examination.
		実技 または 筆記 試験 Practical or Written exam	小論文・設計 13:30 ~ 17:30 ( 240分 / 240 minutes ) Essay or Architectural design examination	300	小論文または設計のうちから 1 つを選択。小論文については、建築学全般から出題される 3 題から 1 題を選択。設計については、解答用のケント紙を A2 サイズとする。 Choose to take either an essay or a practical architectural design examination. The essay exam requires examinees to choose one topic from among three general architectural studies questions. For the design exam, an A2 size Kent paper should be used for the solution.
	2022 年 (令和 4 年) 8 月 23 日 (火) 23 Aug, 2022 (Tue)	口述 試験 Oral exam	1 日目に集合時間を発表 9:00 ~ The meeting time will be announced on the 1 <sup>st</sup> day.	200	研究計画及び関連する専門的知識または持参作品について実施する。 Interviews on your proposal research and related specialized knowledge as well as your portfolio brought to the entrance examination.

( 次ページへ続く / NEXT PAGE )

## 2022 年 (令和 4 年) 秋入学 Fall Admissions for 2022

専攻 Master's Program	学力検査日 Exam Date	区分 Classification	学力検査科目・時間 Exam Subject and Time	配点 Points	内 容 Content
先端ファイブロ 科学専攻 Master's Program of Advanced Fibro- Science	2022 年 (令和 4 年) 8 月 22 日 (月) 22 Aug, 2022 (Mon)	筆記 試験 Written exam	外国語 9:30 ~ 12:00  ( 150分/ 150 minutes ) Foreign language	100	英語 English
		口述 試験 Oral exam	13:00 ~	200	志望分野及び関連分野の専門的学力等について実施する。日本語による試問を含む。 Interviews on specialized knowledge related to your desired research area, including interviews in Japanese.
バイオベース マテリアル学専攻 Master's Program of Biobased Materials Science	2022 年 (令和 4 年) 8 月 22 日 (月) 22 Aug, 2022 (Mon)		外国語 (筆記試験は実施しない) Foreign language ( No written examination )	100	筆記試験に代えて、出願時に提出された TOEIC 個人用公式認定証のスコアにより、評価する。 Official TOEIC score certificate submitted at the time of application will be used for evaluation, instead of a written examination.
		口述 試験 Oral exam	11:00 ~	200	志望分野及び関連分野の専門的学力の口述試問等を含む。 Interviews on specialized knowledge.

## (2) 試験場 Examination Site:

京都工芸繊維大学 松ヶ崎キャンパス (京都市左京区松ヶ崎橋上町 1 番地)

試験室等は、次の日までに本学のホームページ ([https://ac.web.kit.ac.jp/02/gs\\_news.php](https://ac.web.kit.ac.jp/02/gs_news.php)) 及び入試課前掲示板に掲示します。

4 月入学 : 2023 年 (令和 5 年) 2 月 9 日 (木)

秋入学 : 2022 年 (令和 4 年) 8 月 19 日 (金)

KIT Matsugasaki Campus (1 Hashikami-cho Matsugasaki Sakyo-ku, Kyoto, Japan)

Examination rooms will be posted on the KIT Admissions Office bulletin board and on the KIT admission information webpage ([https://ac.web.kit.ac.jp/02/gs\\_news.php](https://ac.web.kit.ac.jp/02/gs_news.php)) by the following dates.

April admissions : 9 February 2023 (Thu).

Fall admissions : 19 August 2022 (Fri).

## (3) 受験についての注意 Examination Precautions

## 共通の注意事項 Common Precautions for All Students

注 : 現状においては、新型コロナウイルス感染症の今後の影響の見通しが立たないことから、新型コロナウイルス感染防止に関連する注意事項については、試験実施日の 2 週間前を目途に本学ホームページ ([https://ac.web.kit.ac.jp/02/gs\\_news.php](https://ac.web.kit.ac.jp/02/gs_news.php)) に通知します。

Note: As future impacts of COVID-19 are currently unknown, we will post any future COVID-19 related precautions on the KIT admission information webpage ([https://ac.web.kit.ac.jp/02/gs\\_news.php](https://ac.web.kit.ac.jp/02/gs_news.php)) approximately two weeks before the examination date.

## 1) 持参物 What to bring

試験には、次の物を持参してください。Bring the following items to the examination

- ① インターネット出願システムより印刷した受験票  
Examination ticket printed from the internet application system
- ② 筆記用具 (HB 程度の黒鉛筆またはシャープペンシル、プラスチック消しゴム)  
Writing utensils (HB type pencil or mechanical pencil, plastic eraser)
- ③ 時計 (携帯電話や計時以外の機能が付いた機器を、時計として使用することはできません。)

Clock (Note: mobile phones or devices with functions other than a timer, may not be used as clocks)

④ 予備も含めて感染防止用のマスク（無地のもの）（マウスシールドは使用できません）

A plain mask to prevent infection, including a spare (mouth shields may not be used)

※デザイン学専攻および建築学専攻については、専攻ごとの注意事項で指定されたものを準備しておいてください。

Note: For the Master's Program of Design and the Master's Program of Architecture, prepare the Items specified in the notes of the respective program.

## 2) 受験上の留意事項 Notes on the examination

① 受験生は、試験の当日、インターネット出願システムより印刷した受験票を持参し、試験監督者等の指示に従って提示してください。持参していない場合は、受験できないことがあります。万一、紛失した場合または忘れた場合は、入試課へ申し出てください。

Examinees must present their examination tickets that they have printed from the internet application system on the examination day and follow the supervisor's directions.

Examinees without their examination tickets may not be allowed to take the examination. If you have lost or failed to bring your examination ticket, inform the Admissions Office.

② 試験当日は試験開始 20 分前までに試験場に到着し、各科目の試験開始 15 分前までに所定の試験室または口述試験控室に入り、自分の受験番号の席に着いてください。

On the day of the examination, examinees should arrive at the examination site 20 minutes before the examination starts, enter the designated examination room or the oral examination waiting room 15 minutes before the start of each specific examination subject and be seated at the desk with your examinee number.

③ 試験開始後、20 分以上遅刻して試験室に到着した場合は、受験することができません。

Examinees who arrive at the examination room 20 minutes or later after the scheduled starting time, will not be allowed to take the examination.

④ 指定の科目等を 1 科目でも受験しなかった場合は、全試験を放棄したものとみなされ、以後は受験することができません。

Examinees who do not take ALL of the designated subjects are disqualified and will not be permitted to take the examination again at a later date.

⑤ 試験中、不正行為をした場合及び不正行為とみなされる行動があった場合、または監督者の指示に従わない場合は、直ちに受験の停止を命じます。

Examinees who act, or are deemed to have acted, dishonestly or who do not follow the instructions of the supervisor during the examination, will be commanded to stop taking the examination immediately.

⑥ 身体の都合等により定められた試験室において受験することが困難と思われる場合は、事前に入試課に申し出てください。

Examinees who are physically unable to take the examination in the designated examination room should consult the Admissions Office in advance.

⑦ 試験時間中に気分が悪くなるなど、受験することが困難と思われた場合は、監督者に申し出て、その指示に従ってください。この場合、医務室で一時休養の後、試験室に復帰することは可能ですが、試験時間の延長は認めません。また、試験室への復帰が、次の試験時間の遅刻限度 20 分を経過した場合は、当該学力検査科目の受験も認めません。

If you become ill during the examination and cannot continue, inform the examination supervisor of your condition and follow his/her instructions. You may come back to the examination room if you feel better after resting at the KIT clinic. Note that no extension of the examination time will be allowed. In addition, if you are more than 20 minutes late for the next examination subject, you will not be allowed to take the next examination.

⑧ 試験中、携帯電話・その他の電子機器・腕時計のアラーム音などが発生しても、試験の再実施や時間の延長などの対応はいたしません。

The examination will not be repeated and time will not be extended, even in the event that a sound such as an alarm from a mobile phone, other electronic devices or wristwatch occurs during testing.

## 3) 禁止事項 Don'ts

① 試験中は、受験票並びに試験監督者の指示するもの以外は机の上に置いてはいけません。

Examinees must not place anything on the desks, except for their examination tickets and/or other items mentioned by the examination supervisor.

- ② 計時以外の機能が付いた時計及び計算機能等がついた文房具の持込を禁止します。  
Clocks with functions other than a timer and writing implements with calculation functions etc. are not allowed on the examination desk.
- ③ 携帯電話や音の出る機器は、試験室に入る前にアラームの設定を解除し、電源を切ってカバン等の中にしまっておいてください。携帯電話を時計として使用できません。また、時計もアラームの設定を解除し、鳴らない状態にしておいてください。  
All mobile phones and devices that emit sound should be turned off before entering the examination room and placed inside your bag. Mobile phones are not allowed to be used as clocks. If your clock has an alarm function it must be turned off so that it does not ring.
- ④ 文字や数式等がプリントされている服等は着用しないでください。着用している場合は、裏返して着ていただくことがあります。座布団と膝掛けは、文字や数式等がプリントされていないものに限り使用を認めます。  
Examinees must not wear clothing on which numerical formulas and/or any other symbols are printed. If such clothing is discovered, the examinee concerned may be asked to wear the clothing inside out. Zabuton (sitting cushions) and lap robes are allowed provided they too have no printed numerical formulas and/or any other symbols.
- ⑤ 試験室内では入室から退室まで（休憩時間を除く）、飲食（ガム・あめなどを含む）は禁止です。  
Eating and drinking (including gum and candy) inside the examination room is not allowed from the time you enter the room until the time you exit (excluding break time).
- ⑥ 試験開始以降、試験室を退室するまで（休憩時間を除く）、試験当日に各専攻から貸与される物品がある場合を除いて、携帯電話やその他の電子機器（オーディオプレーヤー・パソコン・ゲーム機・電子辞書・電子手帳など）は使用できません。  
The use of mobile phones and other electronic devices (audio players, computers, game devices, electronic dictionaries, electronic notebooks etc.) is not allowed from the beginning of the examination until leaving the examination room (excluding break time), except for the use of items provided by each major on the day of the examination.
- ⑦ 各建物のエレベーターの使用を禁止します。  
The use of elevators is prohibited in all buildings.

#### 4) その他 Other

- ① 試験当日に、交通機関の遅延等により試験開始時刻の変更等がある場合は、本学ホームページでお知らせします。  
<https://www.kit.ac.jp/>  
If, on the day of the examination, there is a change in the starting time due to delays in transportation etc., we will inform you through the KIT homepage.  
<https://www.kit.ac.jp/>
- ② その他、受験について不明な点があれば、入試課に問い合わせてください。  
If you have any other questions regarding the examination, contact the Admissions Office.

#### 専攻ごとの注意事項 Cautions for each Master's Program

##### ① 2023年（令和5年）4月入学 April Admissions for 2023

###### ◆ デザイン学専攻 Master's Program of Design

口述試験の際、A3用紙の大きさを3枚までにまとめた作品集・資料等を持参してください。

なお、受験者には試験（実技など）に使用する特別な用具は貸与します。

For the oral examination, bring your portfolio (collection of previous work), materials, etc. It must NOT be MORE THAN 3 sheets of A3-size paper (297mm x 420mm).

We will lend examinees special equipment needed for the examination (practical skills, etc.).

###### ◆ 建築学専攻 Master's Program of Architecture

下記のものを持参してください。

Please bring the following on the examination day.

ア. 小論文の場合：プログラム機能のついていない関数型計算機（電池式）。

For the essay: Battery-powered scientific calculator without program functions

イ. 設計の場合：製図用具、プログラム機能のついていない関数型計算機（電池式）。ただし、製図板とT定規は貸与します。また、メモ類の持ち込みは一切認めません。

For architectural design examination: Drawing instruments and battery-powered scientific calculators without program functions. Drawing boards and T-squares will be provided. Examinees are absolutely forbidden to bring notes.

ウ. 口述試験：研究計画を説明する場合は、必要と思われる資料、または建築設計作品のうち代表的な2点以上を説明できる図面、写真等を持参してください。

ただし、建築模型の持ち込みは認めません。

Oral examination: Diagrams, photos and data that can be used to explain two or more of your representative architectural works or any materials that you feel are necessary to explain your research proposal. Note, however, that architectural models may not be brought into the examination room.

② 2022年（令和4年）秋入学 Fall Admissions for 2022

◆ デザイン学専攻 Master's Program of Design

口述試験の際、A3用紙の大きさを3枚までにまとめた作品集・資料等を持参してください。

なお、受験者には試験（実技など）に使用する特別な用具は貸与します。

For the oral examination, bring your portfolio (collection of previous work), materials, etc. It must NOT be MORE THAN 3 sheets of A3-size paper (297mm x 420mm).

We will lend examinees special equipment needed for the examination (practical skills, etc.).

◆ 建築学専攻 Master's Program of Architecture

下記のものを持参してください。

Please bring the following on the examination day.

ア. 小論文の場合：プログラム機能のついていない関数型計算機（電池式）

For the essay: Battery-powered scientific calculator without program functions.

イ. 設計の場合：製図用具、プログラム機能のついていない関数型計算機（電池式）。ただし、製図板とT定規は貸与します。また、メモ類の持ち込みは一切認めません。

For architectural design examination: Drawing instruments and battery-powered scientific calculators without program functions. Drawing boards and T-squares will be provided. Examinees are absolutely forbidden to bring notes.

ウ. 口述試験：研究計画を説明する場合は、必要と思われる資料、または建築設計作品のうち代表的な2点以上を説明できる図面、写真等を持参してください。

ただし、建築模型の持ち込みは認めません。

Oral examination: Diagrams, photos and data that can be used to explain two or more of your representative architectural works or any materials that you feel are necessary to explain your research proposal. Note, however, that architectural models may not be brought into the examination room.

### 13 合格発表 Announcement of Successful Applicants

次の日時に合格者の受験番号を本学のホームページ ([https://ac.web.kit.ac.jp/02/gs\\_news.php](https://ac.web.kit.ac.jp/02/gs_news.php)) に発表します。  
 なお、合格者には、入学願書に記載された受信場所宛に合格通知書を郵便により送付します。

4月入学：2023年（令和5年）2月22日（水）17時（予定）

秋入学：2022年（令和4年）9月7日（水）17時（予定）

The application numbers of the successful examinees are scheduled to be posted on the KIT admission information webpage ([https://ac.web.kit.ac.jp/02/gs\\_news.php](https://ac.web.kit.ac.jp/02/gs_news.php)) on the following dates. Note also that the notifications of acceptance will be posted to the successful examinees to the mailing address written in the admission application form.

April admissions: Scheduled for 22 February 2023 (Wed), 5:00 pm

Fall admission: Scheduled for 7 September 2022 (Wed), 5:00 pm

### 14 入学手続 Enrollment Procedures

合格者は、次の日時に入学手続を行ってください。なお、入学手続書類は、合格通知書に同封します。

4月入学：

入学手続期間 2023年（令和5年）3月22日（水）から3月27日（月）（17時必着）まで

秋入学：

入学手続期間 2022年（令和4年）9月9日（金）から9月15日（木）（17時必着）まで

Successful examinees should complete the enrollment procedures on the following dates and times. Note that the enrollment documents will be enclosed with the acceptance notifications.

April admissions:

Enrollment procedure period: Enrollment forms must arrive at KIT between 22 March 2023 (Wed) and 27 March 2023 (Mon), and no later than 5:00 pm, on the final day.

Fall admissions:

Enrollment procedure period: Enrollment forms must arrive at KIT between 9 September 2022 (Fri) and 15 September 2022 (Thu), and no later than 5:00 pm, on the final day.

### 15 入学に要する経費 Registration Fees

- (1) 入学料 282,000円

Registration fee: 282,000 JPY

- (2) 授業料 267,900円（半期） 535,800円（年額）

Tuition: 267,900 JPY (bi-annually), 535,800 JPY (annually)

- (3) 学生教育研究災害傷害保険及び付帯賠償責任保険料

2年間の保険料 2,430円（予定）

Personal accident insurance and liability insurance for each student pursuing education and research.

Insurance fee for 2 years: 2,430 JPY (estimated)

- ① 入学料及び授業料の額については、改定される場合があります。

The registration fee and the tuition are subject to change.

- ② 入学料の納入は、入学手続時に行います。入学時に入学料及び授業料が改定された場合は、改定後の入学料及び授業料の額が適用されます。なお、在学中に授業料が改定された場合は、改定時から新授業料の額が適用されます。

Payments of the registration fee must be made at the time of enrollment. In cases where the registration and tuition fees are revised at the time of enrollment, the new fees will apply. If the tuition fee is revised while students are enrolled at KIT, the new tuition fee will apply from the time of revision.

- ③ 授業料の納入は、年間の授業料について、前期及び後期の二期に区分して行います。納入月は前期は4月、後期は10月で、それぞれの期において納入する額は、年額の二分の一に相当する額です。

Tuition payment will be divided into two equal payments, one in the first semester and the other in the second semester. The first semester payment will be in April and the second in October, the amount of each semester being equivalent to half of the annual amount.



- ④ その他、必要に応じて納入する諸経費があります。  
Additionally, there are various charges delivered as the need arises.
- ⑤ 納入方法等の詳細については、合格通知に同封します。  
The details of the payment method are given in the resume enclosed with the letter of acceptance.
- ⑥ 納入した入学金は、いかなる理由があっても返還しません。  
Once paid, the registration fee cannot be returned, for any reason.
- ⑦ 入学手続き時に入学に要する経費を納入した後で、2023年（令和5年）3月31日（金）17時（秋入学の場合は2022年（令和4年）9月22日（木）17時）までに入学を辞退した場合は、申し出により入学金以外を返還します。返還の方法については学務課学務企画係〔TEL (075) 724-7133〕へ問い合わせてください。  
If students withdraw from KIT by 5:00 pm 31 March 2023(Fri) (5:00 pm 22 September 2022 (Thu) for fall admissions) after having made the related payments at the time of enrollment, the equivalent amount, excluding the registration fee, will be refunded upon request. For refunds, contact the Educational Affairs Office.  
Phone +81 - 75 - 724 - 7133.

## 16 入学金・授業料の免除等制度 Registration and tuition fees' exemption system

入学金・授業料の納入が経済的理由により困難であり、かつ学業優秀と認められる場合、願い出により選考のうえ、入学金・授業料の全額または一部を免除もしくは入学金・授業料の徴収が猶予される制度があります。

2023年（令和5年）度前期分（秋入学は2022年（令和4年）度後期分）の授業料免除の申請方法は、外国人留学生（在留資格が「留学」の人、及び本学入学時までに「留学」の在留資格を取得する人）とそれ以外の人とで次のとおり異なります。

詳細は、学生支援・社会連携課経済支援係〔TEL (075) 724-7143 E-mail : shogaku@jim.kit.ac.jp〕へ問い合わせてください。

In cases where students' finances make it difficult to pay registration fees and/or tuition and they are recognized as high academic achievers, they may request an exemption from paying a partial or all of the fee/tuition and/or receive a fee/tuition payment postponement, after the screening based on application.

The application processes for the first semester of 2023 (or for the second semester of 2022, for fall admissions) for international students (those whose resident status is "student" or those who obtain a "student" status by the time of enrollment) and for all other students are different. For more information, inquire at the Student Support and Community Outreach Office, Financial Support. (Phone : +81 - 75 - 724 - 7143. E-mail: shogaku@jim.kit.ac.jp)

### ■ 2023年（令和5年）度前期分（秋入学は2022年（令和4年）度後期分）の授業料免除の申請方法

The application process for the exemption of the tuition of the first semester of 2023 (or of the second semester of 2022, for fall admissions)

- (1) 外国人留学生（在留資格が「留学」の人、または本学に入学するまでに「留学」の資格を取得する人）のうち、下記のいずれかに該当する人

International students (those whose resident status is "student" or those who obtain a "student" status by the time of enrollment) who fall under either of the following categories

#### I. 私費外国人留学生

Privately funded international students

- II. 出願時には国費外国人留学生であるが、本学入学時に私費外国人留学生となる可能性がある人（国費外国人留学生の奨学金支給期間延長の申請をしている人、またはその申請をする予定のある人も含まれます）

Students who are government funded international students at the time of application, but may become privately funded students when enrolled at KIT (This includes international students applying for, or intending to apply for an extension of government funding.)

出願書類と一緒に申請を受け付けます。なお、授業料免除の申請が入試の合否判定に関係することは一切ありません。

Applications should be submitted with the other admission application documents. Applications for tuition exemption will not influence examination results in any way.

#### ① 申請期間 Application period

入試の出願期間に、「② 申請書類」を出願書類と一緒に提出してください。出願期間後の申請は受け付けません。出願期間の詳細は、21ページの『5 出願期間』を参照してください。

Submit the "② Application documents" with the other admission application documents within the application period

(for more information on the application period, refer to “5 Admissions Application Period” on page 21). No applications will be accepted after the application period.

② 申請書類 Application documents

- ・授業料免除申請書類一式（本学所定様式）

本学ホームページ（[https://www.kit.ac.jp/en/prospective\\_student/life\\_fee/](https://www.kit.ac.jp/en/prospective_student/life_fee/)）よりダウンロードしてください。

- ・ The set of documents for tuition exemption (KIT form) can be downloaded from the KIT webpage. ([https://www.kit.ac.jp/en/prospective\\_student/life\\_fee/](https://www.kit.ac.jp/en/prospective_student/life_fee/)) .

③ 選考結果の通知 Notification of Results

入学試験の合格通知書と併せて、免除選考結果通知書を送付します。

Exemption application selection results will be sent with the letter of acceptance after the entrance examination.

(2) 上記(1)以外の人 Students other than (1) above

入学手続後に申請を受け付けます（申請受付日は2023年（令和5年）3月下旬（秋入学は2022年（令和4年）9月中旬）の予定）。

申請方法は、合格通知書と同封する入学手続書類で確認してください。

Examination applications should be submitted after enrollment procedures are finished (late March 2023 (middle of September 2022 for fall admissions)). As for the application process, see the admission guideline documents enclosed with the notification of acceptance.

## 17 その他 Other

- (1) 多くの授業は日本語で行われるので、日本語の能力が十分でない人は、日本語の予備教育を受けておくことが望まれます。

Many classes will be conducted in Japanese – therefore, those who are not sufficiently proficient in Japanese are advised to study the Japanese language intensively.

- (2) 住まいについて Information on accommodation

- ・まりこうじ会館（留学生用の宿舎） Marikoji Kaikan (accommodation for international students)

留学生等用の宿舎については、国際課総務係へ問い合わせてください。

As for further information on accommodation for international students, contact the KIT International Affairs Office, International Project Administration.

- ・松ヶ崎学生館 College House Matsugasaki

松ヶ崎学生館は、松ヶ崎キャンパス西側に隣接し、本学学生や提携大学留学生等が入居することができる個室タイプの居住用施設です。

松ヶ崎学生館については、本学ホームページ及び次に記載する管理・運営業者にお問い合わせください。

College House Matsugasaki is adjacent to the west side of the Matsugasaki campus and provides private rooms for KIT and partner universities international students. For more information, refer to the KIT webpage or inquire below.

◇京都工芸繊維大学 HP KIT webpage

大学 HP トップ>学生生活>生活支援>住まい

<https://www.kit.ac.jp/en/facilities-services/accommodation/>

◇UniLife 松ヶ崎北山通店 J.S.B Kyoto Co., Ltd

(フリーダイヤル toll free 0120-998-521)

- (3) 日本政府奨学金による留学（国費外国人留学生）を希望する人は、各国の日本公館にお問い合わせください。

Those wishing to apply for a Japanese Government (MEXT) Scholarship to study at KIT as a government sponsored foreign student should contact the Japanese diplomatic office in their respective country.

Q 1 : 希望指導教員と連絡を取りたいのですが、連絡先をどこで調べられますか。

A : 大学院入試最新情報 ([https://ac.web.kit.ac.jp/02/gs\\_news.php](https://ac.web.kit.ac.jp/02/gs_news.php)) ページ右上の「教員一覧 (研究内容等)」に、博士前期課程 (修士課程)、博士後期課程で指導を行う各教員の研究テーマと連絡先メールアドレスへのリンクを掲載しています。

Q1: I would like to get in touch with my advisor, where can I find his/her contact information?

A: Contact information and research topics for faculty advising master's and doctoral program students is available online. Access the "Graduate School Admissions Updates" page:



[https://ac.web.kit.ac.jp/02/gs\\_news.php](https://ac.web.kit.ac.jp/02/gs_news.php)

and click on "Master's Program" or "Doctoral Program" (in Japanese, see image above) at the upper right of the page to see the "List of Faculty Members (Research Contents, etc.)."

Q 2 : 学力検査科目「外国語」において、筆記試験に代えてTOEIC公式認定証のスコアにより評価が行われる専攻へ出願したいのですが、TOEIC Listening & Readingのスコアを持っていません。

代わりにTOEFLやIELTS等のスコアを提出できますか。

A : TOEFLやIELTS等のスコアは認められません。また、カレッジTOEIC等の団体特別受験制度 (IPテスト) も、スコアの公式認定証が発行されないため、同テストによるスコアは認めません。必ず、TOEIC Listening & Readingの公式認定証を提出してください。TOEICスコアの有効期限は、TOEIC受験日 (公式認定証に明記されている年月日) が、出願期間の最終日から遡って、2年以内です。

なお、博士前期課程 (修士課程) 外国人留学生特別入試において、「主として英語による教育を行う大学を卒業した、もしくは、卒業見込みである」受験生に対しては、学力検査科目「外国語」を課さない場合があります。詳細については、26ページの「10 選抜方法」を参照してください。

Q2: I would like to apply to a major that evaluates applicants based on their TOEIC Listening & Reading score instead of their written test in the Foreign Language section of the Academic Proficiency Test.

Can I submit TOEFL or IELTS scores instead?

A: Scores from TOEFL, IELTS, etc. are not acceptable. Scores from the College TOEIC or other special group examination system (IP test) are not acceptable either, as no official score certificate is issued. Be sure to submit an official TOEIC Listening & Reading certificate. Be aware that The official TOEIC score must be from a test taken within two years of the final day of the admission application period. In the Special Entrance Examination for International Students for the Master's Degree Program, the "Foreign Language" requirement may not apply to applicants who have graduated or are expected to graduate from a university where courses are primarily conducted in English.

Refer to section "10 Selection Method" on page 26.

## 問い合わせ先 Inquiries

### ○大学院入試全般について General inquiries on graduate admissions

〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町1番地 京都工芸繊維大学

1 Hashikami-cho Matsugasaki Sakyo-ku, Kyoto 606-8585 Japan Kyoto Institute of Technology

入試課大学院入試係 Admissions Office, Graduate Admissions

TEL : 075 - 724 - 7162 Phone : +81 - 75 - 724 - 7162 e-mail: innyushi@kit.ac.jp

◆ 入試課へお問い合わせの際には、受験希望の入試について下記の情報をできるだけ詳細にお知らせください。

また、出願後のお問い合わせについては、必ず受験票に記載されている「受験番号」をお知らせ願います。

- ・ 修士課程、博士課程
- ・ 「入試種別」（推薦、自己推薦、一般、社会人、外国人留学生）
- ・ 「入試区分」（4月入学（第Ⅰ期、第Ⅱ期、第Ⅲ期）、秋入学）
- ・ 「志望専攻」

When contacting the Admissions Office, provide as much of the information below as possible, about the entrance examination you wish to take. If you have any questions after you have applied, be sure to provide us with your examinee's number and tell us which of the following apply to you

- \* Master's Course or Doctoral Course?
- \* Type of Entrance Examination (Recommendation, Self-recommendation, General, Adult, International Students)
- \* Entrance Examination Category (April Admission (1st, 2nd, and 3rd term) or Fall Admission)
- \* Your major

### ○入学手続について Inquiries on enrollment procedures

学務課学務企画係 Educational Affairs Office, Educational Coordination

TEL : 075 - 724 - 7133 Phone : +81 - 75 - 724 - 7133 e-mail: gakumu@jim.kit.ac.jp

### ○入学科・授業料の免除制度及び奨学金制度について

Inquiries on registration fee and/or tuition exemption system and scholarship system

**a: 入学科・授業料の免除制度について** Inquiries on registration and tuition fees' exemption system

学生支援・社会連携課経済支援係 Student Support and Community Outreach Office, Financial Support

TEL : 075 - 724 - 7143 Phone : +81 - 75 - 724 - 7143 e-mail : shogaku@jim.kit.ac.jp

**b: 奨学金制度について** Inquiries on scholarship system

学生支援・社会連携課経済支援係 Student Support and Community Outreach Office, Financial Support

TEL : 075 - 724 - 7143 Phone : +81 - 75 - 724 - 7143 e-mail : shogaku@jim.kit.ac.jp

**c: 外国人留学生向け奨学金制度について** Inquiries on scholarship system for international students

国際課留学生係 International Affairs Office, Student Exchange Services

TEL : 075 - 724 - 7132 Phone : +81 - 75 - 724 - 7132 e-mail: ses@jim.kit.ac.jp

### ○留学生用の宿舎（まりこうじ会館）等について Inquiries on accommodation for international students

国際課総務係 International Affairs Office, International Project Administration

TEL : 075 - 724 - 7177 Phone : +81 - 75 - 724 - 7177 e-mail: techleader@jim.kit.ac.jp